

対象校No. 1069
注4

学校コード F115310105239
注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置
注1



注2
開志専門職大学 アニメ・マンガ学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人新潟総合学院
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	開志専門職大学事務局
職名・氏名	ジムキョクチョウ コンベイタクヤ 事務局長 権瓶 拓也
電話番号	025-240-8118
(夜間)	080-1003-6479
e-mail	soumu@kaishi-pu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

アニメ・マンガ学部

＜アニメ・マンガ学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人新潟総合学院

(2) 大学名

開志専門職大学

(3) 調査対象大学等の位置

(【紫竹山キャンパス】)

(〒950-0914)

(新潟県新潟市中央区紫竹山6丁目3番5号)

【古町ルフルキャンパス】

〒951-8063

新潟県新潟市中央区古町通5番町596-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イケダ ショウゴ) 池田 祥護 平成21年4月1日		
学長	(キタバタ タカオ) 北畑 隆生 令和2年4月1日		
学部長	(カミムラ サチコ) 神村 幸子 令和3年4月1日	(ホリコシ ケンゾウ) 堀越 謙三 令和5年4月1日	変更理由： 前任者の一身上の都合による退職 変更年月日： 令和5年3月31日 (5)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科 アニメ・マンガ学士(専門職)	美術関係	4年	80人	2年次 -人 3年次 -人 4年次 -人	320人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人	-	0.65倍	倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	53人	79人	74人	73人	74人	73人	71人	71人	-	0.65倍	倍	
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	49人	78人	74人	71人	74人	71人	71人	71人	-	0.65倍	倍	
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	44人	74人	69人	70人	69人	70人	70人	70人	-	0.65倍	倍	
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	42人	64人	58人	61人	58人	61人	61人	61人	-	0.65倍	倍	
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.52	0.80	0.72	0.76	0.72	0.76	0.76	0.76	-	0.65倍	倍	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準(第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」)を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	40 [2] (—)	— [—] (—)	60 [3] (—)	— [—] (—)	57 [4] (—)	— [—] (—)	61 [8] (—)	— [—] (—)				
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	39 [2] (—)	— [—] (—)	55 [3] (—)	— [—] (—)	57 [4] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	36 [2] (—)	— [—] (—)	55 [3] (—)	— [—] (—)	
4年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	36 [2] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	40 [2] (—)	— [—] (—)	99 [5] (—)	— [—] (—)	148 [9] (—)	— [—] (—)	209 [17] (—)	— [—] (—)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	42 人	2 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	2 人	1 人	就職(1人)、他の教育機関への入学(1人)
令和4年度	104 人	5 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	0 人	留学
			令和4年度	4 人	0 人	体調不良(2人)、進路変更(1人)、就学意欲の低下(1人)
令和5年度	157 人	9 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	3 人	0 人	体調不良(1人)、進路変更(1人)、就職(1人)
			令和4年度	5 人	0 人	進路変更(3人)、体調不良(1名)、就学意欲の低下(1人)
			令和5年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
令和6年度	209 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		16 人		16 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{42} = \boxed{4.76} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{104} = \boxed{4.8} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{157} = \boxed{5.73} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{209} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	1①②	1								1
	英語コミュニケーションⅡ	1③④	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④	1								1
	日本語コミュニケーション	1①②	2								1
	スタディスキル	1④	1			1	1				
	中国語コミュニケーション	4③④			1						1
	韓国語コミュニケーション	4③④			1						1
	ロシア語コミュニケーション	4③④			1						1
	情報リテラシー	1①②	2								1
	表象芸術論	2①②	2			1					
	心理学概論	2③④		2							1
	知的財産概論	2①	1								1
	キャリアデザインⅠ	1①	1								1
	キャリアデザインⅡ	2①	1								1
	キャリアデザインⅢ	3①	1								1
	現代経済学	1①②		2							1
	現代社会学	4③④		2							1
	マーケティング	3③		1							1
	デジタルマーケティング	4①		1							1
国際動態論	4④		2							1	
ビジネスモラル	1③	1								1	
クリエイターの基礎知識	1④	1			1						
小計(23科目)	—	17	10	3	2	1	1	0	0	16	
職業専門科目	美術史	1①	1			1					2
	文学	1①	1			1					1
	アニメ概論	1②	1			1					
	マンガ概論	1②	1				1				
	アニメ史	1③	1			1					
	マンガ史	1④	1				1				
	アニメ作家研究	2①②		2		1					
	マンガ作家研究	2①②		2			1				
	アニメ産業論	2③④		2		1					
	マンガ産業論	2③④		2		1					1
	サブカルチャー論	2③④		2			1				1
	マンガ・スタディーズ演習	3①	1				1				1
	アニメ・スタディーズ演習	3②	1			1					1
	アニメ・マンガ研究ゼミ※	3③	1			1	1				1
	新潟と地域社会	1①②	2								1
	アニメ・マンガによる地域振興事例研究および演習	1③		1				1	1		1
	文化啓発施設運営実務Ⅰ【臨】	2①②		2				1	1	1	1
	文化啓発施設運営実務Ⅱ【臨】	2③④		2				1	1	1	1
	脚本概論	1①②	2			1					
	物語記号学	1③④		2		1					
近代世界観研究	2①②		2		1						
脚本分析実習※	3③		2		1					1	
映像音響概論	1①②	2			1					1	
映像編集理論	1③④		2		1					1	
ポストプロダクション実習※	2④		1		1					1	
作画表現技法論	1②	1			1					1	
透視図法基礎	1③	1			1					1	
ライフドローイング理論および演習	1①②	4			1					1	
ライフドローイング演習	1③④		4		1					1	
運動表現理論	1①②	2			1						
アニメ表現基礎	1②	1			1					1	
アニメ基礎演習Ⅰ	1③		2		1					1	
色彩設計講義および着彩演習	1③		1							1	
アニメ基礎演習Ⅱ	1④		2		1					1	
作画演習	2①②		6		1	1				1	
演出表現論	2①②		2		1						

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	1①②	1								1
	英語コミュニケーションⅡ	1③④	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④	1								1
	日本語コミュニケーション	1①②	2								1
	スタディスキル	1④	1					1	1		
	中国語コミュニケーション	4③④			1						1
	韓国語コミュニケーション	4③④			1						1
	ロシア語コミュニケーション	4③④			1						1
	情報リテラシー	1①②	2								1
	表象芸術論	2①②	2				1				
	心理学概論	2③④		2							1
	知的財産概論	2③	1								1
	キャリアデザインⅠ	1①	1								1
	キャリアデザインⅡ	2①	1								1
	キャリアデザインⅢ	3①	1					1			0
	現代経済学	1①②		2							1
	現代社会学	4③④		2							0
	マーケティング	3③		1							1
	デジタルマーケティング	4①		1							1
国際動態論	4④		2							1	
ビジネスモラル	1③	1								1	
クリエイターの基礎知識	1④	1					1			0	
小計(23科目)	—	17	10	3	2	2	1	0	0	16	
職業専門科目	美術史	1①	1					0	1	1	2
	文学	1①	1			1					1
	アニメ概論	1②	1				1				
	マンガ概論	1②	1					1			
	アニメ史	1③	1					1			
	マンガ史	1④	1						1		
	アニメ作家研究	2①②		2				1			
	マンガ作家研究	2①②		2					1		
	アニメ産業論	2③④		2				1			
	マンガ産業論	2③④		2		1					1
	サブカルチャー論	2③④		2					1		1
	マンガ・スタディーズ演習	3①	1						1		1
	アニメ・スタディーズ演習	3②	1					1			1
	アニメ・マンガ研究ゼミ※	3③	1					1	1		1
	新潟と地域社会	1①②	2								1
	アニメ・マンガによる地域振興事例研究および演習	1③		1						1	1
	文化啓発施設運営実務Ⅰ【臨】	2①②		2					1	1	1
	文化啓発施設運営実務Ⅱ【臨】	2③④		2					1	1	1
	脚本概論	1①②	2				1				
	物語記号学	1③④		2		1					
近代世界観研究	2①②		2		1						
脚本分析実習※	3③		2		1					1	
映像音響概論	1①②	2					1			1	
映像編集理論	1③④		2		1					1	
ポストプロダクション実習※	2④		1				1			1	
作画表現技法論	1②	1				0			1	1	
透視図法基礎	1③	1				1				1	
ライフドローイング理論および演習	1①②	4					1			1	
ライフドローイング演習	1③④		4				1			1	
運動表現理論	1①②	2					1				
アニメ表現基礎	1②	1					1	1		1	
アニメ基礎演習Ⅰ	1③		2				1			0	
色彩設計講義および着彩演習	1③		1							0	
アニメ基礎演習Ⅱ	1④		2				1			0	
作画演習	2①②		6		1	1				1	
演出表現論	2①②		2		1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	アニメ撮影基礎	2③	2							1	1	
	アニメ制作工程演習	2③④	4			1					1	
	デジタルアニメ実習※	2③④	3			1	1				1	
	アニメ制作実習※	3①②	2			1					1	
	アニメゼミⅠ※	3①②	2			1					1	
	アニメゼミⅡ※	3③	1			1					1	
	アニメ制作実務Ⅰ【臨】	3④	5			2	1				2	
	アニメ制作実務Ⅱ【臨】	4②	8			2	1				2	
	マンガ表現基礎	1②	1			1					1	
	マンガ基礎演習Ⅰ	1③	2			1		1			1	
	マンガ基礎演習Ⅱ	1④	2			1		1			1	
	デジタルマンガ表現論	2①	1					1				
	マンガ脚本演習※	2①②	6			1		2			1	
	マンガ表現演習※	2①②	4			1		2			1	
	マンガ脚本実習	2③④	3			1		2			2	
	マンガ表現実習	2③④	2			1		2			2	
	マンガフィニッシュワーク実習※	3①②	2								1	2
	マンガゼミⅠ※	3①②	2			1		2			2	
	マンガゼミⅡ※	3③	1			1		2			2	
	キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ【臨】	3④	5				2	3	1		2	
	キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ【臨】	4②	8				2	3	1		2	
	描画ソフト基礎学習	1①			1						1	1
	キャラクターデザイン表現基礎	1②	1				1				1	1
	キャラクターコンテンツ企画演習	1③	1				2				1	0
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ	1③	2				1				1	1
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	1④	2				1				1	1
	キャラクターデザイン演習	2①②	4				2				1	1
	キャラクターデザイン実習※	2③④	3				2				2	1
	立体デザイン	3③	1			1						
	3DCG概論	2④	1									1
	3DCGソフト演習Ⅰ	3①②	4								1	4
	3DCGソフト演習Ⅱ	3③	2								1	4
ゲーム制作実習※	3④	1								1	1	
キャラクターデザインゼミⅠ※	3①②	2				2				2	1	
キャラクターデザインゼミⅡ※	3③	1				2				2	1	
イラスト実務実習【連】	3①②	5				2	1	1		3		
デジタルペイント実務Ⅰ【臨】	2③	2				2				1		
デジタルペイント実務Ⅱ【臨】	3②	2				2				1		
小計(74科目)	—	—	29	136	1	8	6	3	1	6	16	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	アニメ撮影基礎	2③	2								1	0
	アニメ制作工程演習	2③④	4				1				1	0
	デジタルアニメ実習※	2③④	3				1	1			1	
	アニメ制作実習※	3①②	2				1				1	0
	アニメゼミⅠ※	3①②	2				1				1	
	アニメゼミⅡ※	3③	1				1				1	
	アニメ制作実務Ⅰ【臨】	3④	5				2	1			2	
	アニメ制作実務Ⅱ【臨】	4②	8				2	1			2	
	マンガ表現基礎	1②	1				1				1	
	マンガ基礎演習Ⅰ	1③	2				1		1		1	
	マンガ基礎演習Ⅱ	1④	2				1		1		1	
	デジタルマンガ表現論	2①	1						1			
	マンガ脚本演習※	2①②	6				1		2		1	
	マンガ表現演習※	2①②	4				1		2		1	
	マンガ脚本実習	2③④	3				1		2		2	
	マンガ表現実習	2③④	2				1		2		2	
	マンガフィニッシュワーク実習※	3①②	2								1	2
	マンガゼミⅠ※	3①②	2				1		2		2	
	マンガゼミⅡ※	3③	1				1		2		2	
	キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ【臨】	3④	5					0	5	2	2	
	キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ【臨】	4②	8					0	5	2	2	
	描画ソフト基礎学習	1①				1					1	1
	キャラクターデザイン表現基礎	1②	1					0	1	1	1	1
	キャラクターコンテンツ企画演習	1③	1					0	1	1	1	0
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ	1③	2						1	1	1	1
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	1④	2						1	1	1	1
	キャラクターデザイン演習	2①②	4					0	1	1	1	1
	キャラクターデザイン実習※	2③④	3					0	1	1	2	1
	立体デザイン	3③	4						1			
	3DCG概論	2④	1									1
	3DCGソフト演習Ⅰ	3①②	4							1		0
	3DCGソフト演習Ⅱ	3③	2							1		0
ゲーム制作実習※	3④	1								1	1	
キャラクターデザインゼミⅠ※	3①②	2					0	2	1	2	1	
キャラクターデザインゼミⅡ※	3③	1					0	2	1	2	1	
イラスト実務実習【連】	3①②	5					0	3	2	3		
デジタルペイント実務Ⅰ【臨】	2③	2						2		1		
デジタルペイント実務Ⅱ【臨】	3②	2						2		1		
小計(74科目)	—	—	29	139	1	7	3	5	2	6	12	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	物語芸術workshop I (演劇制作)	1④	4			1			1	1		
	物語芸術workshop II (美写映画制作※)	2④		2			1			1	1	
	企画プロデュース概論	1③	1			1						
	企画開発概論	1④	1			1						
	コンテンツビジネス概論	2③④	2			1						
	企画プロデュース演習※	2③		1		1					1	
	企画制作技術演習	2③		2			1				1	
	企画プロデュースゼミ	3①②		1		2					1	
	コンテンツ英語 I	3①②		2								1
	コンテンツ英語 II	3③		2								1
	DTPソフト理論および基礎演習	2①	2								1	4
	DTPソフト応用演習	2②	2								1	4
	パブリッシング実習 I ※	2③④	2				1					2
	パブリッシング実習 II ※	3③	1				1					2
	印刷・広告実習 I【臨】	3②		2			1		1	1		1
	印刷・広告実習 II【臨】	3④		2			1		1	1		1
小計(16科目)	-	-	15	14	0	2	2	0	1	6	5	
総合科目	総合制作研究実習 I	4①	2			7	5	3			6	
	総合制作研究実習 II	4③④	4			7	5	3			6	
小計(2科目)	-	-	6	0	0	7	5	3	0	6		
合計(115科目)	-	-	67	160	4	9	6	3	1	6	37	

卒業要件及び履修方法

アニメ・マンガ学部の卒業要件は、基礎科目群から必修科目17単位と選択科目3単位以上、職業専門科目群から必修科目29単位と選択科目31単位以上、展開科目群から必修科目15単位と選択科目5単位以上、総合科目群から6単位、あわせて128単位以上を修得する。
また、連携実務演習等5単位、臨地実務実習15単位を含み実習科目を40単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	物語芸術workshop I (演劇制作)	1④	4			1				1	6	
	物語芸術workshop II (美写映画制作※)	2④		2			1			1	6	
	企画プロデュース概論	1③	1			1						
	企画開発概論	1④	1			1						
	コンテンツビジネス概論	2③④	2			1						
	企画プロデュース演習※	2③		1		1					6	
	企画制作技術演習	2④		2			1				6	
	企画プロデュースゼミ	3①②		1		2					1	
	コンテンツ英語 I	3①②		2								1
	コンテンツ英語 II	3③		2								1
	DTPソフト理論および基礎演習	2①	2								1	1
	DTPソフト応用演習	2②	2								1	1
	パブリッシング実習 I ※	2③④	2				1					2
	パブリッシング実習 II ※	3③	1				1					2
	印刷・広告実習 I【臨】	3②		2			1		1	1		1
	印刷・広告実習 II【臨】	3④		2			1		1	1		1
小計(16科目)	-	-	15	14	0	2	2	0	1	6	2	
総合科目	総合制作研究実習 I	4①	2			8	4	5	1	6	1	
	総合制作研究実習 II	4③④	4			8	4	5	1	6	1	
小計(2科目)	-	-	6	0	0	8	4	5	1	6	1	
合計(115科目)	-	-	67	163	4	8	4	5	2	6	31	

卒業要件及び履修方法

アニメ・マンガ学部の卒業要件は、基礎科目群から必修科目17単位と選択科目3単位以上、職業専門科目群から必修科目29単位と選択科目31単位以上、展開科目群から必修科目15単位と選択科目5単位以上、総合科目群から6単位、あわせて128単位以上を修得する。
また、連携実務演習等5単位、臨地実務実習15単位を含み実習科目を40単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	1①②	1								1
	英語コミュニケーションⅡ	1③④	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④	1								1
	日本語コミュニケーション	1③④	2								1
	スタディスキル	1④	1			1	1				
	中国語コミュニケーション	4③④		1							1
	韓国語コミュニケーション	4③④		1							1
	ロシア語コミュニケーション	4③④		1							1
	情報リテラシー	1①②	2								1
	表象芸術論	2①②	2			1					
	心理学概論	2③④	2								1
	知的財産概論	2③	1								1
	キャリアデザインⅠ	1①	1								1
	キャリアデザインⅡ	2①	1								1
	キャリアデザインⅢ	3①	1				1				0
	現代経済学	1①②	2								1
	現代社会学	4③④	2								1
	マーケティング	3③	1								1
	デジタルマーケティング	4①	1								1
国際動態論	4④	2								1	
ビジネスモラル	1③	1								1	
クリエイターの基礎知識	1④	1			1						
小計(23科目)	—	17	10	3	2	2	1	0	0	15	
職業専門科目	美術史	1①	1				0	1	1		2
	文学	1①	1			1					1
	アニメ概論	1②	1				1				
	マンガ概論	1②	1					1			
	アニメ史	1③	1				1				
	マンガ史	1④	1					1			
	アニメ作家研究	2①②	2				1				
	マンガ作家研究	2①②	2					1			
	アニメ産業論	2③④	2				1				
	マンガ産業論	2③④	2		1						1
	サブカルチャー論	2③④	2					1			
	マンガ・スタディーズ演習	3①	1					1			1
	アニメ・スタディーズ演習	3②	1				1				1
	アニメ・マンガ研究ゼミ※	3③	1				1	1			1
	新潟と地域社会	1①②	2								1
	アニメ・マンガによる地域振興事例研究および演習	1③	1						1	1	
	文化客発施設運営実務Ⅰ【臨】	2①②	2					1	1	1	
	文化客発施設運営実務Ⅱ【臨】	2③④	2					1	1	1	
	脚本概論	1①②	2			1					
	物語記号学	1③④	2			1					
近代世界観研究	2①②	2			1						
脚本分析実習※	3③	2			1					1	
映像音響概論	1①②	2				1				1	
映像編集理論	1③④	2				1				1	
ポストプロダクション実習※	2④	1				1				1	
作画表現技法論	1②	1			0			1		1	
透視図法基礎	1③	1						1		1	
ライフドローイング理論および演習	1①②	4			1					1	
ライフドローイング演習	1③④	4			1					1	
運動表現理論	1①②	2			1						
アニメ表現基礎	1②	1			1	1				1	
アニメ基礎演習Ⅰ	1③	2			0					1	
色彩設計講義および着彩演習	1④	1						1	1	1	
アニメ基礎演習Ⅱ	1④	2			0					1	
作画演習	2①②	6			1	1				1	
演出表現論	2①②	2			1						

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	1①②	1								1
	英語コミュニケーションⅡ	1③④	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④	1								1
	日本語コミュニケーション	1③④	2								1
	スタディスキル	1④	1				1	1			
	中国語コミュニケーション	4③④			1						1
	韓国語コミュニケーション	4③④			1						1
	ロシア語コミュニケーション	4③④			1						1
	情報リテラシー	1①②	2								1
	表象芸術論	2①②	2				1				
	心理学概論	2③④	2								1
	知的財産概論	2①	1								1
	キャリアデザインⅠ	1①	1								1
	キャリアデザインⅡ	2①	1								1
	キャリアデザインⅢ	3①	1								1
	現代経済学	1①②	2								1
	現代社会学	4③④	2								1
	マーケティング	3③	1								0
	デジタルマーケティング	4①	1								1
国際動態論	4④	2								1	
ビジネスモラル	1③	1								1	
クリエイターの基礎知識	1④	1				1					
小計(23科目)	—	17	10	3	2	1	1	0	0	14	
職業専門科目	美術史	1①	1				1				2
	文学	1①	1				1				1
	アニメ概論	1②	1					1			
	マンガ概論	1②	1						1		
	アニメ史	1③	1					1			
	マンガ史	1④	1						1		
	アニメ作家研究	2①②	2					1			
	マンガ作家研究	2①②	2						1		
	アニメ産業論	2③④	2					1			
	マンガ産業論	2③④	2		1						1
	サブカルチャー論	2③④	2						1		
	マンガ・スタディーズ演習	3①	1						1		1
	アニメ・スタディーズ演習	3②	1					1			1
	アニメ・マンガ研究ゼミ※	3③	1					1	1		1
	新潟と地域社会	1①②	2								1
	アニメ・マンガによる地域振興事例研究および演習	1③	1							1	1
	文化客発施設運営実務Ⅰ【臨】	2①②	2						1	1	1
	文化客発施設運営実務Ⅱ【臨】	2③④	2						1	1	1
	脚本概論	1①②	2				1				
	物語記号学	1③④	2				1				
近代世界観研究	2①②	2				1					
脚本分析実習※	3③	2								1	
映像音響概論	1①②	2					1			1	
映像編集理論	1③④	2					1			1	
ポストプロダクション実習※	2④	1						1		1	
作画表現技法論	1②	1				1				1	
透視図法基礎	1③	1						1		1	
ライフドローイング理論および演習	1①②	4						1		1	
ライフドローイング演習	1③④	4						1		1	
運動表現理論	1①②	2						1			
アニメ表現基礎	1②	1						1	1		
アニメ基礎演習Ⅰ	1③	2						1		1	
色彩設計講義および着彩演習	1④	1							1	1	
アニメ基礎演習Ⅱ	1④	2						1		1	
作画演習	2①②	6				1	1			1	
演出表現論	2①②	2				1					

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	アニメ撮影基礎	2③		2						1	1	
	アニメ制作工程演習	2③④		4		0				1	1	
	デジタルアニメ実習※	2③④		3		1	1			1	1	
	アニメ制作実習※	3①②		2		0				1	1	
	アニメゼミⅠ※	3①②		2		1				1	1	
	アニメゼミⅡ※	3③		1		1				1	1	
	アニメ制作実務Ⅰ【臨】	3④		5		2	1			2	2	
	アニメ制作実務Ⅱ【臨】	4②		8		2	1			2	2	
	マンガ表現基礎	1②	1		1					1	1	
	マンガ基礎演習Ⅰ	1③		2		1		1		1	1	
	マンガ基礎演習Ⅱ	1④		2		1		1		1	1	
	デジタルマンガ表現論	2①		1				1				
	マンガ脚本演習※	2①②		6		1		2		1	1	
	マンガ表現演習※	2①②		4		1		2		1	1	
	マンガ脚本実習	2③④		3		1		2		2	2	
	マンガ表現実習	2③④		2		1		2		2	2	
	マンガフィニッシュワーク実習※	3①②		2						1	2	
	マンガゼミⅠ※	3①②		2		1		2		2	2	
	マンガゼミⅡ※	3③		1		1		2		2	2	
	キャラクターイラスト-マンガ実務Ⅰ【臨】	3④		5			1	4		1	2	
	キャラクターイラスト-マンガ実務Ⅱ【臨】	4②		8			1	4		1	2	
	描画ソフト基礎学習	1①			1					1	1	
	キャラクターデザイン表現基礎	1②	1			1	1			1	1	
	キャラクターコンテンツ企画演習	1③	1			1	1			1	1	
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ	1③		2				1		1	1	
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	1④		2				1		1	2	
	キャラクターデザイン演習	2①②		4			1	1		1	1	
	キャラクターデザイン実習※	2③④		3			1	1		2	1	
	立体デザイン	3③		4		1						
	3DCG概論	2④		1							1	
	3DCGソフト演習Ⅰ	3①②		4						1	1	
	3DCGソフト演習Ⅱ	3③		2						1	1	
ゲーム制作実習※	3④		1						1	1		
キャラクターデザインゼミⅠ※	3①②		2			1	1		2	2		
キャラクターデザインゼミⅡ※	3③		1			1	1		2	1		
イラスト実務実習【連】	3①②	5				1	2		1	3		
デジタルペイント実務Ⅰ【臨】	2③		2			2			1	1		
デジタルペイント実務Ⅱ【臨】	3②		2			2			1	1		
小計(74科目)	-		29	139	1	6	4	4	1	5	17	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	アニメ撮影基礎	2③		2						1	1	
	アニメ制作工程演習	2③④		4			1			1	1	
	デジタルアニメ実習※	2③④		3		1	1			1	1	
	アニメ制作実習※	3①②		2		1				1	1	
	アニメゼミⅠ※	3①②		2		1				1	1	
	アニメゼミⅡ※	3③		1		1				1	1	
	アニメ制作実務Ⅰ【臨】	3④		5		2	1			2	2	
	アニメ制作実務Ⅱ【臨】	4②		8		2	1			2	2	
	マンガ表現基礎	1②	1		1					1	1	
	マンガ基礎演習Ⅰ	1③		2		1		1		1	1	
	マンガ基礎演習Ⅱ	1④		2		1		1		1	1	
	デジタルマンガ表現論	2①		1				1				
	マンガ脚本演習※	2①②		6		1		2		1	1	
	マンガ表現演習※	2①②		4		1		2		1	1	
	マンガ脚本実習	2③④		3		1		2		2	2	
	マンガ表現実習	2③④		2		1		2		2	2	
	マンガフィニッシュワーク実習※	3①②		2						1	2	
	マンガゼミⅠ※	3①②		2		1		2		2	2	
	マンガゼミⅡ※	3③		1		1		2		2	2	
	キャラクターイラスト-マンガ実務Ⅰ【臨】	3④		5				2	3	1	2	
	キャラクターイラスト-マンガ実務Ⅱ【臨】	4②		8				2	3	1	2	
	描画ソフト基礎学習	1①			1						1	1
	キャラクターデザイン表現基礎	1②	1			1	1			1	1	
	キャラクターコンテンツ企画演習	1③	1			1	1			1	1	
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ	1③		2				2		1	1	
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	1④		2				2		1	1	
	キャラクターデザイン演習	2①②		4			1	1		1	1	
	キャラクターデザイン実習※	2③④		3			1	1		2	1	
	立体デザイン	3③		1		1						
	3DCG概論	2④		1							1	
	3DCGソフト演習Ⅰ	3①②		4						1	4	
	3DCGソフト演習Ⅱ	3③		2						1	4	
ゲーム制作実習※	3④		1						1	1		
キャラクターデザインゼミⅠ※	3①②		2			1	1		2	2		
キャラクターデザインゼミⅡ※	3③		1			1	1		2	2		
イラスト実務実習【連】	3①②	5				1	2		1	3		
デジタルペイント実務Ⅰ【臨】	2③		2			2			1	1		
デジタルペイント実務Ⅱ【臨】	3②		2			2			1	1		
小計(74科目)	-		29	136	1	8	6	3	1	6	15	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	物語芸術workshop I (演劇制作)	1④	4			1			1	1		
	物語芸術workshop II (実写映画制作※)	2④		2			1			1	1	
	企画プロデュース概論	1③	1			1						
	企画開発概論	1④	1			1						
	コンテンツビジネス概論	2③④	2			1						
	企画プロデュース演習※	2③		1		1					1	
	企画制作技術演習	2④		2			1				1	
	企画プロデュースゼミ	3①②		1		2					1	
	コンテンツ英語 I	3①②		2								1
	コンテンツ英語 II	3③		2								1
	DTPソフト理論および基礎演習	2①	2								1	1
	DTPソフト応用演習	2②	2								1	1
	パブリッシング実習 I ※	2③④	2				1				2	
	パブリッシング実習 II ※	3③	1				1				2	
	印刷・広告実習 I【臨】	3②		2			1			1	1	
	印刷・広告実習 II【臨】	3④		2			1			1	1	
小計(16科目)	-	-	15	14	0	2	2	0	1	5	2	
総合科目	総合制作研究実習 I	4①	2			5	4	4			6	
	総合制作研究実習 II	4③④	4			5	4	4			6	
小計(2科目)	-	-	6	0	0	5	4	4	0	5		
合計(115科目)	-	-	67	163	4	7	5	4	1	5	34	

卒業要件及び履修方法

アニメ・マンガ学部の卒業要件は、基礎科目群から必修科目17単位と選択科目3単位以上、職業専門科目群から必修科目29単位と選択科目31単位以上、展開科目群から必修科目15単位と選択科目5単位以上、総合科目群から6単位、あわせて128単位以上を修得する。
また、連携実務演習等5単位、臨地実務実習15単位を含み実習科目を40単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	物語芸術workshop I (演劇制作)	1④	4			1			1	1		
	物語芸術workshop II (実写映画制作※)	2④		2			1			1	1	
	企画プロデュース概論	1③	1			1						
	企画開発概論	1④	1			1						
	コンテンツビジネス概論	2③④	2			1						
	企画プロデュース演習※	2③		1		1					1	
	企画制作技術演習	2④		2			1				1	
	企画プロデュースゼミ	3①②		1		2					1	
	コンテンツ英語 I	3①②		2								1
	コンテンツ英語 II	3③		2								1
	DTPソフト理論および基礎演習	2①	2								1	4
	DTPソフト応用演習	2②	2								1	4
	パブリッシング実習 I ※	2③④	2				0				2	1
	パブリッシング実習 II ※	3③	1				0				2	
	印刷・広告実習 I【臨】	3②		2			0			1	1	
	印刷・広告実習 II【臨】	3④		2			0			1	1	
小計(16科目)	-	-	15	14	0	2	1	0	1	6	6	
総合科目	総合制作研究実習 I	4①	2			7	4	3			6	
	総合制作研究実習 II	4③④	4			7	4	3			6	
小計(2科目)	-	-	6	0	0	7	4	3	0	6		
合計(115科目)	-	-	67	160	4	9	5	3	1	6	35	

卒業要件及び履修方法

アニメ・マンガ学部の卒業要件は、基礎科目群から必修科目17単位と選択科目3単位以上、職業専門科目群から必修科目29単位と選択科目31単位以上、展開科目群から必修科目15単位と選択科目5単位以上、総合科目群から6単位、あわせて128単位以上を修得する。
また、連携実務演習等5単位、臨地実務実習15単位を含み実習科目を40単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	1①②	1								1
	英語コミュニケーションⅡ	1③④	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	2①②	1								1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2③④	1								1
	日本語コミュニケーション	1③④	2								1
	スタディスキル	1④	1			1	1				
	中国語コミュニケーション	4③④		1							1
	韓国語コミュニケーション	4③④		1							1
	ロシア語コミュニケーション	4③④		1							1
	情報リテラシー	1①②	2								1
	表象芸術論	2①②	2		1						1
	心理学概論	2③④	2								1
	知的財産概論	2①	1								1
	キャリアデザインⅠ	1①	1								1
	キャリアデザインⅡ	2①	1								1
	キャリアデザインⅢ	3①	1								1
	現代経済学	1①②	2								1
	現代社会学	4③④	2								1
	マーケティング	3③	1								1
	デジタルマーケティング	4①	1								1
	国際動向論	4④	2								1
	ビジネスモラル	1④	1								1
	クリエイターの基礎知識	1④	1			1					
小計(23科目)	—	17	10	3	2	1	1	0	0	15	
職業専門科目	美術史	1①	1			1					2
	文学	1①	1			1					1
	アニメ概論	1②	1			1					
	マンガ概論	1②	1				1				
	アニメ史	1③	1			1					
	マンガ史	1④	1				1				
	アニメ作家研究	2①②	2			1					
	マンガ作家研究	2①②	2				1				
	アニメ産業論	2③④	2			1					
	マンガ産業論	2③④	2		1					1	
	サブカルチャー論	2③④	2					1			
	マンガ・スタディーズ演習	3①	1				1		1		
	アニメ・スタディーズ演習	3②	1			1			1		
	アニメ・マンガ研究ゼミ※	3③	1			1	1		1		
	新潟と地域社会	1①②	2								1
	アニメ・マンガによる地域振興事例研究および演習	1③	1					1	1		
	文化客発施設運営実務Ⅰ【臨】	2①②	2					1	1	1	
	文化客発施設運営実務Ⅱ【臨】	2③④	2					1	1	1	
	脚本概論	1①②	2			1					
	物語記号学	1③④	2			1					
	近代世界観研究	2①②	2			1					
	脚本分析実習※	3③	2			1				1	
	映像音響概論	1①②	2			1				1	
	映像編集理論	1③④	2			1				1	
	ポストプロダクション実習※	2④	1			1				1	
	作画表現技法論	1②	1			1				1	
	透視図法基礎	1③	1			1				1	1
	ライフドローイング理論および演習	1①②	4			1				1	
	ライフドローイング演習	1③④	4			1				1	
	運動表現理論	1①②	2			1					
	アニメ表現基礎	1②	1			1	1			1	
	アニメ基礎演習Ⅰ	1③	2			1				1	
色彩設計講義および着彩演習	1③	1			1				1	1	
アニメ基礎演習Ⅱ	1④	2			1				1		
作画演習	2①②	6			1	1			1		
演出表現論	2①②	2			1						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	アニメ撮影基礎	2③		2							1	1
	アニメ制作工程演習	2③④		4			1				1	1
	デジタルアニメ実習※	2③④		3			1	1			1	1
	アニメ制作実習※	3①②		2			1				1	1
	アニメゼミⅠ※	3①②		2			1				1	1
	アニメゼミⅡ※	3③		1			1				1	1
	アニメ制作実務Ⅰ【臨】	3④		5		2	1				2	2
	アニメ制作実務Ⅱ【臨】	4②		8		2	1				2	2
	マンガ表現基礎	1②	1			1					1	1
	マンガ基礎演習Ⅰ	1③	2			1			1		1	1
	マンガ基礎演習Ⅱ	1④	2			1			1		1	1
	デジタルマンガ表現論	2①	1						1		1	1
	マンガ脚本演習※	2①②	6			1			2		1	1
	マンガ表現演習※	2①②	4			1			2		1	1
	マンガ脚本実習	2③④	3			1			2		2	2
	マンガ表現実習	2③④	2			1			2		2	2
	マンガフィニッシュワーク実習※	3①②	2			1			2		1	2
	マンガゼミⅠ※	3①②	2			1			2		2	2
	マンガゼミⅡ※	3③	1			1			2		2	2
	キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ【臨】	3④	5					2	3	1	2	2
	キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ【臨】	4②	8					2	3	1	2	2
	描画ソフト基礎学習	1①			1						1	1
	キャラクターデザイン表現基礎	1②	1					1			1	1
	キャラクターコンセプト企画演習	1③	1					2			1	1
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ	1③	2					1			1	1
	キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	1④	2					1			1	1
	キャラクターデザイン演習	2①②	4					2			1	1
キャラクターデザイン実習※	2③④	3					2			2	2	
立体デザイン	3③	1			1							
3DCG概論	2④	1									1	
3DCGソフト演習Ⅰ	3①②	4								1	4	
3DCGソフト演習Ⅱ	3③	2								1	4	
ゲーム制作実習※	3④	1								1	1	
キャラクターデザインゼミⅠ※	3①②	2					2			2	2	
キャラクターデザインゼミⅡ※	3③	1					2			2	2	
イラスト実務実習【連】	3①②	5					2	1	1	3	3	
デジタルペイント実務Ⅰ【臨】	2③	2					2			1	1	
デジタルペイント実務Ⅱ【臨】	3②	2					2			1	1	
小計(74科目)	—	29	136	1	8	6	3	1	6	16		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
展開科目	物語芸術workshop I (演劇制作)	1④	4			1			1	1	
	物語芸術workshop II (実写映画制作※)	2④		2			1		1	1	
	企画プロデュース概論	1③	1			1					
	企画開発概論	1④	1			1					
	コンテンツビジネス概論	2③④	2			1					
	企画プロデュース演習※	2③		1		1				1	
	企画制作技術演習	2③		2			1			1	
	企画プロデュースゼミ	3①②		1		2				1	
	コンテンツ英語 I	3①②		2							1
	コンテンツ英語 II	3③		2							1
	DTPソフト理論および基礎演習	2①	2							1	4
	DTPソフト応用演習	2②	2							1	4
	パブリッシング実習 I ※	2③④	2				1				2
	パブリッシング実習 II ※	3③	1				1				2
	印刷・広告実習 I 【臨】	3②		2			1		1	1	1
	印刷・広告実習 II 【臨】	3④		2			1		1	1	1
小計(16科目)	-	15	14	0	2	2	0	1	6	5	
総合科目	総合制作研究実習 I	4①	2			7	5	3		6	
	総合制作研究実習 II	4③④	4			7	5	3		6	
	小計(2科目)	-	6	0	0	7	5	3	0	6	
合計(115科目)	-	67	160	4	9	6	3	1	6	36	

卒業要件及び履修方法

アニメ・マンガ学部の卒業要件は、基礎科目群から必修科目17単位と選択科目3単位以上、職業専門科目群から必修科目29単位と選択科目31単位以上、展開科目群から必修科目15単位と選択科目5単位以上、総合科目群から6単位、あわせて128単位以上を修得する。
また、連携実務演習等5単位、臨地実務実習15単位を含み実習科目を40単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・Latham, Daryl Lance兼任講師の就任辞退により、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語プレゼンテーション演習Ⅰ」「英語プレゼンテーション演習Ⅱ」の後任は同科目を担当のRily, Paul兼任講師が担当。これにより、基礎科目の兼任・兼任配置数(小計)を「16」から「15」へ、また(合計)を「37」から「36」へ変更。
・常木正則兼任教授の「日本語コミュニケーション」の配当年次を「1①②」から「1③④」に変更。
・認可申請書(2.教育課程等の概要)の「アニメ表現基礎」専任教員等の配置数に脱字があったため、該当科目の准教授配置数を「0」から「1」へ追記変更。(西村潤子准教授分)

【令和4年度】

・中西素規准教授の退職により、該当科目「パブリッシング実習Ⅰ【※】」「パブリッシング実習Ⅱ【※】」「印刷・広告実習Ⅰ【臨】」「印刷・広告実習Ⅱ【臨】」の准教授配置数について「1」から「0」へ変更。「総合制作研究実習Ⅰ【※】」「総合制作研究実習Ⅱ【※】」については准教授配置数を「5」から「4」へ変更、また展開科目の准教授配置数(小計)を「2」から「1」へ。総合科目の准教授配置数(小計)を「5」から「4」へ。准教授配置数(合計)を「6」から「5」へ変更。後任については、現在採用活動中。
・「パブリッシング実習Ⅰ【※】」に野上勇人兼任講師を配置。これにより、「兼任・兼任」配置数について「0」から「1」に変更。
・高松孝光兼任教授の退職により、該当科目「マーケティング」の兼任・兼任配置数について「1」から「0」へ変更。また基礎科目の兼任・兼任配置数(小計)を「15」から「14」へ変更。後任については、現在採用活動中。
・「描画ソフト基礎学習」について、夏海ケイ兼任講師が退職により、秋山さゆり兼任講師へ変更。この変更に伴い、職業専門科目の小計を「16」から「15」へ変更。
・高松孝光兼任教授および夏海ケイ兼任講師の退職、野上勇人専任講師の配置により、合計(兼任・兼任配置数)を「36」から「35」へ変更。
・横山昌吾准教授の「企画制作技術演習」の配当年次を「2③」から「2④」へ変更。

【令和5年度】

・佐藤賢兼任講師の「知的財産概論」の配当年次を「2①」から「2③」に変更。
・「キャリアデザインⅢ」について、和平勝明兼任講師から野上勇人准教授に変更。この変更により「兼任・兼任」配置数を「1」から「0」、「准教授」配置数を「0」から「1」に変更。また、「准教授」配置数小計を「1」から「2」へ変更。
・「マーケティング」について、採用活動中であった教員に小川元也兼任准教授を配置。その結果、「マーケティング」の兼任・兼任配置数について「0」から「1」へ変更。また基礎科目の兼任・兼任配置数(小計)を「14」から「15」へ変更。
・「クリエイターの基礎知識」について、神村幸子教授の退職により、「教授」配置数を「1」から「0」に変更。また、基礎科目の「教授」配置数小計を「2」から「1」に変更。後任は現在採用活動中。
・「美術史」について、森岡淳准教授の退職(兼任講師へ転換)により雑賀忠宏専任講師と青木健一助教に変更。この変更により「准教授」配置数を「1」から「0」に変更。「講師」と「助教」配置数を「0」から「1」にそれぞれ変更。また、職業専門科目の「准教授」配置数小計を「5」から「4」に変更。「講師」「助教」の配置数小計の変更はなし。
・「作画表現技法論」「透視図法基礎」「アニメ基礎演習Ⅰ」「アニメ基礎演習Ⅱ」「アニメ制作工程演習」「アニメ制作実習」について、神村幸子教授とこだま兼嗣教授の退職により、該当科目の「教授」配置数を「1」から「0」に変更。また、職業専門科目の「教授」配置数小計を「8」から「6」に変更。「作画表現技法論」「透視図法基礎」「アニメ基礎演習Ⅰ」「アニメ基礎演習Ⅱ」「アニメ制作工程演習」は現在後任採用活動中。
・「作画表現技法論」は青木健一助教に変更。「助教」配置数を「0」から「1」に変更。
・「アニメ制作実習」は齊藤紀生兼任講師に変更。「兼任・兼任」配置数を「0」から「1」に変更。
・「色彩設計講義および着色演習」について甲斐けい兼任講師の退職により、「兼任・兼任」配置数を「1」から「0」に変更。現在後任採用活動中。
・森岡淳准教授の退職により「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」「キャラクターコンテンツ企画演習」「キャラクターデザイン演習」「キャラクターデザイン実習」「キャラクターデザインゼミⅠ」「キャラクターデザインゼミⅡ」「イラスト実務実習」について、「准教授」配置数を「2」から「1」に変更。「キャラクターデザイン表現基礎」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」について、「准教授」配置数を「1」から「0」に変更。
・上記森岡淳准教授の後任として瓜生幸夫専任講師を配置。この変更により、「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」について、「講師」配置数を「3」から「4」に変更。「キャラクターコンテンツ企画演習」「キャラクターデザイン演習」「キャラクターデザイン実習」「キャラクターデザインゼミⅠ」「キャラクターデザインゼミⅡ」「キャラクターデザイン表現基礎」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」について、「講師」配置数を「0」から「1」へ変更。「イラスト実務実習」について、「講師」配置数を「1」から「2」へ変更。また、職業専門科目の「講師」小計を「3」から「4」に変更。
・「キャラクターデザイン表現基礎」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」「キャラクターデザインゼミⅡ」に森岡淳兼任講師を配置。該当科目の「兼任・兼任」配置数を「0」から「1」に変更。職業専門科目の「兼任・兼任」小計「+1」。
・「3DCGソフト演習Ⅰ」「3DCGソフト演習Ⅱ」の兼任講師4名を日高千秋兼任講師に変更。職業専門科目の「兼任・兼任」小計「-3」。職業専門科目の「兼任・兼任」小計は「15」から「13」に変更。
・令和4年度の教育課程連携協議会での審議結果を踏まえ、「立体デザイン」については演習を加え、単位数を「1単位」から「4単位」へ変更。これに伴い職業専門科目の「選択科目」単位数小計が「136」から「139」に変更。
・「DTPソフト理論および基礎演習」「DTPソフト応用演習」の兼任講師4名を伊藤真一兼任講師に変更。
・「パブリッシング実習Ⅰ」「パブリッシング実習Ⅱ」「印刷・広告実習Ⅰ」「印刷・広告実習Ⅱ」に野上勇人准教授を配置。該当科目の「准教授」配置数を「0」から「1」に変更。展開科目の「准教授」小計を「1」から「2」に変更。「パブリッシング実習Ⅰ」の「兼任・兼任」配置数を「1」から「0」に変更。展開科目の「兼任・兼任」小計は「6」から「2」に変更。
・「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」の配置数について、神村幸子教授、こだま兼嗣教授、森岡淳准教授の退職と、後任の野上勇人准教授、瓜生幸夫専任講師の追加のため、「教授」配置数を「7」から「5」へ、「講師」配置数を小計「3」から「4」にそれぞれ変更。
・助手は採用活動中のため小計「6」から「5」に変更。2024年度(令和6年度)充足予定。
・上記変更に伴い、専任教員等の配置の合計について、「教授」合計を「9」から「7」、「講師」合計を「3」から「4」、「助手」合計を「6」から「5」、「兼任・兼任」合計を「35」から「30」にそれぞれ変更。
・後任採用中であった「クリエイターの基礎知識」にbelne専任教授を配置。「教授」配置数を「0」から「1」に変更。
・後任採用中であった「アニメ基礎演習Ⅰ」「アニメ基礎演習Ⅱ」「アニメ制作工程演習」に渡部英雄兼任講師を配置。「兼任・兼任」配置数をそれぞれ「0」から「1」に変更。職業専門科目の「兼任・兼任」小計「+1」。
・後任採用中であった「色彩設計講義および着色演習」に木村聡子兼任講師を配置。「兼任・兼任」の配置数を「0」から「1」に変更。職業専門科目の「兼任・兼任」の小計「+1」。
・次年度に向けた教員増員に向け、「キャラクターコンテンツ企画演習」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」に工藤遥兼任講師を配置。「キャラクターコンテンツ企画演習」の「兼任・兼任」配置数を「0」から「1」に、「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」の「兼任・兼任」配置数を「1」から「2」に変更。職業専門科目の「兼任・兼任」の小計「+1」に。
・次年度に向けた教員増員に向け、「キャラクターデザイン実習」に田中寛崇兼任講師を配置。「キャラクターデザイン実習」の「兼任・兼任」配置数を「0」から「1」に変更。職業専門科目の「兼任・兼任」の小計「+1」に。
・上記の変更に伴い、職業専門科目の「兼任・兼任」小計を「13」から「17」に変更。あわせて、「兼任・兼任」の配置数合計を「30」から「34」に変更。
・謝振成助手退職により、助手の合計数「5」から「4」に変更。

【令和6年度】

【基礎科目】

・土岐智賀子兼任講師の退職により、「キャリアデザインⅠ」の後任に北野奈々子兼任講師、「現代社会学」の後任に齋藤雅哉兼任講師がそれぞれ配置になり兼任・兼任配置数の変更なし。

【職業専門科目】

・「アニメ基礎演習Ⅰ」「アニメ基礎演習Ⅱ」について、渡部英雄教授が兼任講師として担当していたところ、令和6年度より専任教員として採用したため兼任・兼任配置数を「1」から「0」に変更。あわせて教授配置数を「0」から「1」に変更。

・木村聡子兼任講師の退職により、「色彩設計講義および着彩演習」の兼任・兼任配置数を「1」から「0」に変更。後任は採用活動中。

・高橋和美兼任講師の退職により、「アニメ撮影基礎」の後任に佐藤哲平兼任講師を配置し、兼任・兼任配置数に変更なし。

・「アニメ制作工程演習」「アニメ制作実習」について、渡部英雄教授が兼任講師として担当していたところ、令和6年度より専任教員として採用したため兼任・兼任配置数を「1」から「0」に変更。あわせて教授配置数を「0」から「1」に変更。

・KENT00准教授の退職により、「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」「キャラクターデザイン表現基礎」「キャラクターコンテンツ企画演習」「キャラクターデザイン演習」「キャラクターデザイン実習」「キャラクターデザインゼミⅠ」「キャラクターデザインゼミⅡ」「イラスト実務実習」の准教授配置数を「1」から「0」に変更。

・日高千秋専任講師採用により、「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」の講師配置数を「4」から「5」へ、「キャラクターデザインゼミⅠ」「キャラクターデザインゼミⅡ」の講師配置数を「1」から「2」へ、「イラスト実務実習」の講師配置数を「2」から「3」へそれぞれ変更。令和5年度に兼任講師として担当していた「3DCGソフト演習Ⅰ」「3DCGソフト演習Ⅱ」の兼任・兼任配置数を「1」から「0」に変更し、講師配置数を「0」から「1」に変更した。

・工藤遥助教採用により、「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」の助教配置数を「1」から「2」へ、「キャラクターデザイン表現基礎」「キャラクターコンテンツ企画演習」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」「キャラクターデザイン演習」「キャラクターデザイン実習」「キャラクターデザインゼミⅠ」「キャラクターデザインゼミⅡ」の助教配置数を「0」から「1」へ、「イラスト実務実習」の助教配置数を「1」から「2」へそれぞれ変更。また、令和5年度に兼任講師として担当していた「キャラクターコンテンツ企画演習」の兼任・兼任配置数を「1」から「0」に、「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」の兼任・兼任配置数を「2」から「1」にそれぞれ変更。

・「キャラクターデザイン演習」について、田中寛崇兼任講師を配置。兼任・兼任配置数を「0」から「1」へ変更。

・「キャラクターデザインゼミⅠ」について、森岡淳兼任講師を配置。兼任・兼任配置数を「0」から「1」へ変更。

・上記変更により、職業専門科目の小計について、教授配置数「6」から「7」（渡部英雄教授）、准教授配置数「4」から「3」（KENT00准教授）、専任講師配置数「4」から「5」（日高専任講師）、助教配置数を「1」から「2」（工藤遥助教）、兼任・兼任配置数は「17」から「12」に変更となった。助手も配置を見直し「5」から「6」に変更。

【展開科目】

・「物語芸術workshopⅠ」「物語芸術workshopⅡ」「企画プロデュース演習」「企画制作技術演習」について、助手の配置を見直し「1」から「6」に変更。これにより、小計の助手配置数も「5」から「6」に変更した。

【総合科目】

・「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」について、渡部英雄教授採用と、村井さだゆき教授、ヨシカワゴエモン教授の追加配置（現在教員審査中（令和6年3月提出））により教授配置数「5」から「8」、KENT00准教授の退職と西村順子准教授の追加配置（現在教員審査中（令和6年3月提出））により准教授配置数「4」から変更なし、日高千秋専任講師採用により講師配置数「4」から「5」に、工藤遥助教採用により助教配置数「0」から「1」にそれぞれ変更。あわせて、KENT00准教授を兼任講師として採用したため兼任・兼任配置数「0」から「1」へ変更した。

【合計】

・また上記の入退職により、合計の配置数もそれぞれ変更となった。

教授配置数「7」から「8」、准教授配置数「5」から「4」、講師配置数「4」から「5」、助教配置数「1」から「2」、兼任・兼任配置数「34」から「31」。

・岩城つくし助手と今井理子助手を採用し、助手の合計配置数は「4」から「6」に変更した。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
42 科目	69 科目	4 科目	115 科目	42 科目 [0]	69 科目 [0]	4 科目 [0]	115 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{115} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部増設にともない、共用3,653.80㎡は古町ルネッサンスの複合ビル敷地面積を追加(3) 借用地1,051㎡ 2017.8.21~ 2040.10.31 2041 賃借期間を1年延長したため(2)		
	校舎敷地	9,210.14㎡	0.00㎡ 3,653.80㎡	0.00㎡	12,863.94㎡			
	運動場用地	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡			
	小 計	9,210.14㎡	0.00㎡ 3,653.80㎡	0.00㎡	12,863.94㎡			
	そ の 他	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡			
	合 計	9,210.14㎡	0.00㎡ 3,653.80㎡	0.00㎡	12,863.94㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎面積 15,907.80㎡の内、 2,104.48㎡は申請外の面積 学部増設にともない、古町ルネッサンス 分を追加(3) 古町ルネッサンスの至近の図書館(借 用)は216.9㎡ 2020.4.1~ 2045.3.31(3)			
	13,803.32㎡ 19,492.94㎡ 17,388.46㎡ (13,803.32㎡) (19,492.94㎡) (17,388.46㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	19,492.94㎡ 17,388.46㎡ (19,492.94㎡) (17,388.46㎡)				
(3) 教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 学部増設にともない、古町ルネッサンス 分を追加(3) (補助職員0人) (補助職員0人)		
	47室 21	44室 13	40室 17	2室 3 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		令和5年度の報告に誤りがあり修正(6)			
	アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科		16 20 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	令和3年の報告では2,618(61)と報告。別館アニメ・マンガ図書館のコミック28,233冊を含めていなかった為冊数修正あり。設置認可申請の内容にはコミック28,233冊を記載。 (4) 学術雑誌は、「教育研究充実のため8誌追加。寄贈雑誌8誌受入。(4) 電子ジャーナルは、基本計画書記載の9点は、データベース4点が含まれている可能性が高い。データベースは、電子ジャーナルとは別物な為、含めない。(4) 視聴覚資料は、品切れ・絶版により入手不可資料の差替資料が納品された為修正(4)
	アニメ・マンガ学部	31,828 [80] (2,618 [61]) (31,828 [80]) (32,146 [83]) (32,668 [87])	40 [5] (21 [0]) (40 [5]) (43 [5]) (49 [5])	5 [5] (5 [5]) (5 [5]) (5 [5]) (5 [5])	241 (110) (241) (336) 370	3,302 (3,302)	0 (0)	
	計	31,828 [80] (2,618 [61]) (31,828 [80]) (32,146 [83]) (32,668 [87])	40 [5] (21 [0]) (40 [5]) (43 [5]) (49 [5])	5 [5] (5 [5]) (5 [5]) (5 [5]) (5 [5])	241 (110) (241) (336) 370	3,302 (3,302)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	—557.27㎡ 790.88㎡	469席 209		23,750冊 55,750				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には、雑誌・電子ジャーナル・データベース等の整備費(運用コスト含む)を含む。 コロナ感染対策によるカメラ購入の為(3) 納期遅れにより開学年度に支払を行ったため(図書・自動貸出返却機)(4)
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	15,040千円 6,050	200千円 9,190	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	341,370千円 305,954	0千円 5,416	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,280千円 1,480千円	1,080千円 1,280千円	1,080千円 1,280千円	1,080千円 1,280千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	開志専門職大学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
事業創造学部	4	80	0	320	-	0.63	-	-	-	-		
事業創造学科	4	80	0	320	事業創造学士(専門職)	0.63	-	-	令和2	新潟県新潟市中央区紫竹山6-3-5		
情報学部	4	80	0	320	-	0.73	-	-	-	-		
情報学科	4	80	0	320	情報学士(専門職)	0.73	-	-	令和2	新潟県新潟市中央区米山3-1-53		
アニメ・マンガ学部	4	80	0	320	-	0.65	-	-	-	-		
アニメ・マンガ学科	4	80	0	320	アニメ・マンガ学士(専門職)	0.65	-	-	令和3	新潟県新潟市中央区古町通7番町1010番地		
大学全体	4	240	0	960								

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、**必ず下線を引いてください。**
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。**
 また、**0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。**当該設定は、**学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。**
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
実専	教授	深井 利行 <令和3年4月>	運動表現理論 アニメ表現基礎 作画演習 デジタルアニメ実習 アニメ制作実務Ⅰ アニメ制作実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	教授	深井 利行 <令和3年4月>	運動表現理論 アニメ表現基礎 作画演習 デジタルアニメ実習 アニメ制作実務Ⅰ アニメ制作実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	教授	深井 利行 <令和3年4月>	運動表現理論 アニメ表現基礎 作画演習 デジタルアニメ実習 アニメ制作実務Ⅰ アニメ制作実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	教授	深井 利行 <令和3年4月>	運動表現理論 アニメ表現基礎 作画演習 デジタルアニメ実習 アニメ制作実務Ⅰ アニメ制作実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ
									実専	教授	演劇 英雄 <令和6年4月> 修士(文化情報)		実専	教授	アニメ基礎演習Ⅰ アニメ基礎演習Ⅱ 演出演習 アニメ制作工程演習 アニメ制作実習 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ 選別図法基礎
実専	准教授	KENTOO (喜多浩一) <令和3年4月> 学士(工学)	キャラクターデザイン表現基礎 キャラクターコンテンツ企画演習 キャラクターデザイン演習 キャラクターデザイン実習 キャラクターデザインゼミⅠ キャラクターデザインゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	准教授	KENTOO (喜多浩一) <令和3年4月> 学士(工学)	キャラクターデザイン表現基礎 キャラクターコンテンツ企画演習 キャラクターデザイン演習 キャラクターデザイン実習 キャラクターデザインゼミⅠ キャラクターデザインゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	准教授	KENTOO (喜多浩一) <令和3年4月> 学士(工学)	キャラクターコンテンツ企画演習 キャラクターデザイン演習 キャラクターデザイン実習 キャラクターデザインゼミⅠ キャラクターデザインゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	実専	准教授	KENTOO (喜多浩一) <令和3年4月> 学士(工学)	キャラクターコンテンツ企画演習 キャラクターデザイン演習 キャラクターデザイン実習 キャラクターデザインゼミⅠ キャラクターデザインゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ
実専	准教授	中西 素規 <令和3年4月> 造形学士	パブリッシング実習Ⅰ パブリッシング実習Ⅱ 印刷・広告実習Ⅰ 印刷・広告実習Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	准教授	中西 素規 <令和3年4月> 造形学士	パブリッシング実習Ⅰ パブリッシング実習Ⅱ 印刷・広告実習Ⅰ 印刷・広告実習Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ				後任はR4年8月教員審査済				
									実専	准教授	野上 勇人 <令和5年4月> 学士(法学)		実専	准教授	キャリアデザインⅢ パブリッシング実習Ⅰ パブリッシング実習Ⅱ 印刷・広告実習Ⅰ 印刷・広告実習Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ
実専	講師	日高トモキチ(日高誠之) <令和3年4月> 文学士	マンガ基礎演習Ⅰ マンガ基礎演習Ⅱ マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	講師	日高トモキチ(日高誠之) <令和3年4月> 文学士	マンガ基礎演習Ⅰ マンガ基礎演習Ⅱ マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	講師	日高トモキチ(日高誠之) <令和3年4月> 文学士	マンガ基礎演習Ⅰ マンガ基礎演習Ⅱ マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	講師	日高トモキチ(日高誠之) <令和3年4月> 文学士	マンガ基礎演習Ⅰ マンガ基礎演習Ⅱ マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ イラスト実務実習 キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ
実専	講師	高山 瑞穂(太田 克己) <令和3年4月>	デジタルマンガ表現論 マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	講師	高山 瑞穂(太田 克己) <令和3年4月>	デジタルマンガ表現論 マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	講師	高山 瑞穂(太田 克己) <令和3年4月>	デジタルマンガ表現論 マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ	実専	講師	高山 瑞穂(太田 克己) <令和3年4月>	デジタルマンガ表現論 マンガ脚本演習 マンガ表現演習 マンガ脚本実習 マンガ表現実習 マンガゼミⅠ マンガゼミⅡ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ 総合制作研究実習Ⅰ 総合制作研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
実(研)	教授	村井さだゆき(貞之) <令和3年4月> 経済学士		実(研)	教授	村井さだゆき(貞之) <令和3年4月> 経済学士		実(研)	教授	村井さだゆき(貞之) <令和3年4月> 経済学士	
実(研)	准教授	西村 潤子 <令和3年4月>		実(研)	准教授	西村 潤子 <令和3年4月>		実(研)	准教授	西村 潤子 <令和3年4月>	
実(研)	准教授	森岡 淳 <令和3年4月> 修士(美術)		実(研)	准教授	森岡 淳 <令和3年4月> 修士(美術)		実(研)	准教授	森岡 淳 <令和3年4月> 修士(美術)	
兼任	教授	常木 正則 <令和3年4月> 教育学修士		兼任	教授	常木 正則 <令和3年4月> 教育学修士		兼任	教授	常木 正則 <令和3年4月> 教育学修士	
兼任	教授	増田 達夫 <令和6年4月> 学士(政治学)		兼任	教授	増田 達夫 <令和6年4月> 学士(政治学)		兼任	教授	増田 達夫 <令和6年4月> 学士(政治学)	
兼任	講師	柄沢 直之 <令和3年4月> 修士※(工学)		兼任	講師	柄沢 直之 <令和3年4月> 修士※(工学)		兼任	講師	柄沢 直之 <令和3年4月> 修士※(工学)	
兼任	教授	大野(北嶋) 幸夫 <令和4年4月> 法学修士		兼任	教授	大野(北嶋) 幸夫 <令和4年4月> 法学修士					
兼任	講師	土岐 智賀子 <令和3年4月> 博士(社会学)		兼任	講師	土岐 智賀子 <令和3年4月> 博士(社会学)		兼任	講師	土岐 智賀子 <令和3年4月> 博士(社会学)	
兼任	教授	高松 孝光 <令和5年4月> 経営学修士		兼任	教授	高松 孝光 <令和5年4月> 経営学修士		兼任	准教授	小川 元也 <令和4年11月> 修士(経営学)	
兼任	教授	徳田 賢二 <令和3年4月> 経済学士		兼任	教授	徳田 賢二 <令和3年4月> 経済学士					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	豊田 典子 <令和5年4月> 修士(応用言語学)※	コンテンツ英語Ⅰ コンテンツ英語Ⅱ	兼任	講師	豊田 典子 <令和5年4月> 修士(応用言語学)※	コンテンツ英語Ⅰ コンテンツ英語Ⅱ	兼任	講師	豊田 典子 <令和5年4月> 修士(応用言語学)※	コンテンツ英語Ⅰ コンテンツ英語Ⅱ	兼任	講師	豊田 典子 <令和5年4月> 修士(応用言語学)※	コンテンツ英語Ⅰ コンテンツ英語Ⅱ
兼任	講師	崔 衛華(CUI WEIHUA) <令和6年4月> 博士(経済学)	中国語コミュニケーション	兼任	講師	崔 衛華(CUI WEIHUA) <令和6年4月> 博士(経済学)	中国語コミュニケーション	兼任	講師	崔 衛華(CUI WEIHUA) <令和6年4月> 博士(経済学)	中国語コミュニケーション	兼任	講師	崔 衛華(CUI WEIHUA) <令和6年4月> 博士(経済学)	中国語コミュニケーション
兼任	講師	Rily, Paul <令和3年4月> MASTER OF EDUCATION (TESOL)(豪州)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	兼任	講師	Rily, Paul <令和3年4月> MASTER OF EDUCATION (TESOL)(豪州)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	兼任	講師	Rily, Paul <令和3年4月> MASTER OF EDUCATION (TESOL)(豪州)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	兼任	講師	Rily, Paul <令和3年4月> MASTER OF EDUCATION (TESOL)(豪州)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ
兼任	講師	Latham, Daryl Lance <令和3年4月> Curriculum& Instruction, Reading Specialist 修士(米園)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	兼任	講師	時田 ケリー <令和4年4月>	英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	兼任	講師	時田 ケリー <令和4年4月>	英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ	兼任	講師	時田 ケリー <令和4年4月>	英語プレゼンテーション演習Ⅰ 英語プレゼンテーション演習Ⅱ
兼任	講師	黄 仁祚 <令和6年4月> 修士(文学)	韓国語コミュニケーション	兼任	講師	黄 仁祚 <令和6年4月> 修士(文学)	韓国語コミュニケーション	兼任	講師	黄 仁祚 <令和6年4月> 修士(文学)	韓国語コミュニケーション	兼任	講師	黄 仁祚 <令和6年4月> 修士(文学)	韓国語コミュニケーション
兼任	講師	中谷 昌弘 <令和6年4月> 博士(経済学)	ロシア語コミュニケーション	兼任	講師	中谷 昌弘 <令和6年4月> 博士(経済学)	ロシア語コミュニケーション	兼任	講師	中谷 昌弘 <令和6年4月> 博士(経済学)	ロシア語コミュニケーション	兼任	講師	中谷 昌弘 <令和6年4月> 博士(経済学)	ロシア語コミュニケーション
兼任	講師	和平 勝明 <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)	キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	兼任	講師	和平 勝明 <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)	キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	兼任	講師	松澤 祐公 <令和5年4月> 学士	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	若槻 彰子 <令和6年4月> 学士	キャリアデザインⅡ
兼任	講師	戸野 芳晴 <令和3年4月>	透視図法基礎	兼任	講師	戸野 芳晴 <令和3年4月>	透視図法基礎	兼任	講師	戸野 芳晴 <令和3年4月>	透視図法基礎	兼任	講師	戸野 芳晴 <令和3年4月>	透視図法基礎
兼任	講師	宮下 好文 <令和3年4月> 修士(経済学)	新潟と地域社会	兼任	講師	宮下 好文 <令和3年4月> 修士(経済学)	新潟と地域社会	兼任	講師	宮下 好文 <令和3年4月> 修士(経済学)	新潟と地域社会	兼任	講師	宮下 好文 <令和3年4月> 修士(経済学)	新潟と地域社会
兼任	講師	夏海ケイ(小島 奈津美) <令和3年4月>	描画ソフト基礎学習	兼任	講師	夏海ケイ(小島 奈津美) <令和3年4月>	描画ソフト基礎学習								
兼任	講師	甲斐 けいこ <令和3年4月>	色彩設計講義および着彩演習	兼任	講師	甲斐 けいこ <令和3年4月>	色彩設計講義および着彩演習	兼任	講師	木村 聡子 <令和5年9月>	色彩設計講義および着彩演習	兼任	講師	未定(採用活動中)	色彩設計講義および着彩演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	秋山さゆり <令和5年4月>	マンガフィニッシュワーク実習	兼任	講師	秋山さゆり <令和5年4月>	マンガフィニッシュワーク実習	兼任	講師	秋山さゆり <令和5年4月>	マンガフィニッシュワーク実習
兼任	講師	小泉 寛子 <令和5年4月>	マンガフィニッシュワーク実習	兼任	講師	小泉 寛子 <令和5年4月>	マンガフィニッシュワーク実習	兼任	講師	小泉 寛子 <令和5年4月>	マンガフィニッシュワーク実習
兼任	講師	遠藤 勝利 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ	兼任	講師	遠藤 勝利 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ				
兼任	講師	安井 聖幸 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ	兼任	講師	安井 聖幸 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ				
兼任	講師	中澤 俊貴 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ	兼任	講師	中澤 俊貴 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ				
兼任	講師	中山 貴之 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ	兼任	講師	中山 貴之 <令和5年4月>	3DCGソフト演習Ⅰ 3DCGソフト演習Ⅱ				
兼任	講師	柳橋 航 <令和4年4月>	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習	兼任	講師	柳橋 航 <令和4年4月>	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習	兼任	講師	伊藤 真一 <令和5年4月>	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習
兼任	講師	五十嵐 祐太 <令和4年4月> 学士(造形)	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習	兼任	講師	五十嵐 祐太 <令和4年4月> 学士(造形)	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習				
兼任	講師	安 海鎧 <令和4年4月>	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習	兼任	講師	安 海鎧 <令和4年4月>	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習				
兼任	講師	白井 豊子 <令和4年4月>	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習	兼任	講師	白井 豊子 <令和4年4月>	DTPソフト理論および基礎演習 DTP応用演習				
兼任	講師	谷口 直嗣 <令和5年4月> 工学学士	ゲーム制作実習	兼任	講師	谷口 直嗣 <令和5年4月> 工学学士	ゲーム制作実習	兼任	講師	谷口 直嗣 <令和5年4月> 工学学士	ゲーム制作実習
兼任	講師	佐藤 督 <令和3年4月> 法務博士	ビジネスモラル	兼任	講師	佐藤 督 <令和3年4月> 法務博士	ビジネスモラル	兼任	講師	佐藤 督 <令和3年4月> 法務博士	ビジネスモラル
兼任	講師	高橋 和美 <令和4年4月>	アニメ撮影基礎	兼任	講師	高橋 和美 <令和4年4月>	アニメ撮影基礎	兼任	講師	高橋 和美 <令和4年4月>	アニメ撮影基礎
兼任	講師	中山 雅紀 <令和4年4月> 修士(工学)	3DCG概論	兼任	講師	中山 雅紀 <令和4年4月> 修士(工学)	3DCG概論	兼任	講師	中山 雅紀 <令和4年4月> 修士(工学)	3DCG概論
兼任	講師	松本 京介 <令和4年4月> 博士(教育学)	心理学概論	兼任	講師	松本 京介 <令和4年4月> 博士(教育学)	心理学概論	兼任	講師	上田 純平 <令和4年4月> 修士(学校教育学)	心理学概論
兼任	講師	武田 修美 <令和6年4月>	デジタルマーケティング	兼任	講師	武田 修美 <令和6年4月>	デジタルマーケティング	兼任	講師	武田 修美 <令和6年4月>	デジタルマーケティング

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

・Latham, Daryl Lance兼任講師の就任辞退により、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語プレゼンテーション演習Ⅰ」「英語プレゼンテーション演習Ⅱ」の後任は同科目を担当のRiley, Paul兼任講師が担当。

【令和4年度】

・中西素規准教授が令和4年3月31日付で退職。「パブリッシング実習Ⅰ」「パブリッシング実習Ⅱ」「印刷・広告実習Ⅰ」「印刷・広告実習Ⅱ」「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」の後任について、令和4年6月3日にAC教員審査提出。
・「パブリッシング実習Ⅰ」に野上勇人兼任講師を配置。
・「キャラクターデザイン表現基礎」について、担当教員にKENT00准教授と森岡淳准教授を共同として授業担当に配置。
・「キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」にKENT00准教授を追加配置。
・夏海ケイ兼任講師の退職により「描画ソフト基礎学習」を秋山さゆり兼任講師へ変更。
・高松孝光兼任教授が令和4年3月31日付で退職。「マーケティング」について、後任の担当教員は採用活動中。
・「心理学概論」について、担当教員を松本京介兼任講師から上田純平兼任講師に変更。
・「英語プレゼンテーション演習Ⅰ・Ⅱ」について、担当教員をRiley, Paul兼任講師から時田ケリー兼任講師に変更。
・高松孝光兼任教授が令和4年退職。担当科目の「マーケティング」の後任は令和5年4月に配置。
・大野幸夫兼任教授が令和4年退職。「知的財産概論」について、後任として佐藤督兼任講師に変更。
・森岡淳准教授が令和5年3月31日付で退職。担当科目の後任は令和5年度配置。

【令和5年度】

・堀越謙三教授が学部長に職名変更。
・成田兵衛教授が学部長代行に職名変更。
・神村幸子教授が令和5年3月31日付で退職。「作画表現技法論」の授業担当を青木健一助教に、「透視図法基礎」の授業担当を深井利行教授に変更。それぞれ令和5年6月教員審査提出。また、「クリエイターの基礎知識」の授業担当をbelne教授に変更。AC教員審査済（令和5年11月）。
・こだま兼嗣教授が令和5年3月31日付で退職。「演出表現論」の授業担当を室井ふみえ教授に変更。令和5年6月教員審査提出。また、「アニメ制作実習」の授業担当を齋藤紀生兼任講師に、「アニメ基礎演習Ⅰ」「アニメ基礎演習Ⅱ」「アニメ制作工程演習」の授業担当に渡部英雄兼任講師に変更。
・「パブリッシング実習Ⅰ」「パブリッシング実習Ⅱ」「印刷・広告実習Ⅰ」「印刷・広告実習Ⅱ」に総合制作研究実習Ⅰについて、野上勇人准教授を配置。（令和4年8月教員審査実施済み）
・森岡淳兼任講師を「キャラクターデザイン表現基礎」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」「キャラクターデザインゼミⅡ」に配置。これら科目はKENT00准教授、瓜生幸夫専任講師と共同で担当する。
・「美術史」に雑賀専任講師と青木健一助教の2人を配置。（雑賀専任講師は令和4年11月に教員審査実施済み）
・森岡淳准教授の担当授業の後任は瓜生幸夫専任講師に変更。（令和5年3月教員審査実施済み）
・甲斐けいこ兼任講師が退職。担当授業「色彩設計講義および着彩演習」の後任として木村聡子兼任講師に変更。
・和平勝明兼任講師の担当授業「キャリアデザインⅢ」の後任に野上勇人准教授、「キャリアデザインⅡ」の後任に松澤祐公兼任講師に変更。
・「マーケティング」について、後任として小川元也兼任准教授に変更。
・徳田賢二兼任教授の担当「現代経済学」の後任として小川頭正兼任講師に変更。
・遠藤勝利兼任講師、安井聖幸兼任講師、中澤俊貴兼任講師、中山貴之兼任講師の担当授業「3DCGソフト演習Ⅰ・Ⅱ」について、後任として日高千秋兼任講師に変更。
・白井登子兼任講師、安海裕兼任講師、柳橋航兼任講師、五十嵐祐太兼任講師の担当授業「DTPソフト理論および基礎演習」「DTPソフト応用演習」について、後任として伊藤真一兼任講師に変更。
・後任採用中であった「クリエイターの基礎知識」にbelne専任教授を配置。
・後任採用中であった「アニメ基礎演習Ⅰ」「アニメ基礎演習Ⅱ」「アニメ制作工程演習」に渡部英雄兼任講師を配置。
・後任採用中であった「色彩設計講義および着彩演習」に木村聡子兼任講師を配置。
・次年度に向けた教員増員向け、「キャラクターコンテンツ企画演習」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」に工藤遥兼任講師を配置。
・次年度に向けた教員増員向け、「キャラクターデザイン実習」に田中寛崇兼任講師を配置。

【令和6年度】

・KENT00准教授が令和6年3月31日付で退職。兼任講師として「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」は継続して担当。その他担当科目の後任に、瓜生幸夫専任講師、日高千秋専任講師、工藤遥助教、森岡淳兼任講師、田中寛崇兼任講師。
・日高千秋兼任講師が令和6年4月1日付で退職。専任講師として、「3DCGソフト演習Ⅰ」「3DCGソフト演習Ⅱ」「イラスト実務実習」「キャラクターデザインゼミⅠ」「キャラクターデザインゼミⅡ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」を担当。（AC教員審査済 令和6年2月）
・工藤遥兼任講師が令和6年4月1日付で退職。助教として、「キャラクターデザイン表現基礎」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ」「キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ」「キャラクターコンテンツ企画演習」「キャラクターデザイン演習」「キャラクターデザイン実習」「イラスト実務実習」「キャラクターデザインゼミⅠ」「キャラクターデザインゼミⅡ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰ」「キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅱ」「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」を担当。（AC教員審査済 令和6年2月）
・「キャラクターデザインゼミⅠ」に森岡淳兼任講師を追加で配置。
・「キャラクターデザイン演習」に田中寛崇兼任講師を追加で配置。
・齋藤紀生兼任講師が退職。担当授業「アニメ制作工程演習」の後任として渡部英雄教授に変更。
・渡部英雄兼任講師が令和6年4月1日付で退職。教授として、「アニメ基礎演習Ⅰ」「アニメ基礎演習Ⅱ」「演出表現論」「アニメ制作工程演習」「アニメ制作実習」「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」「透視図法基礎」を担当。（AC教員審査済 令和6年2月）
・木村聡子兼任講師が退職。「色彩設計講義および着彩演習」の後任は採用活動中。
・高橋和美兼任講師が退職。「アニメ撮影基礎」の後任として佐藤哲平兼任講師に変更。
・土岐智賀子専任講師が退職。「キャリアデザインⅠ」の後任を北野奈々専任講師に変更。「現代社会学」の後任は齋藤雅哉兼任講師に変更。
・武田修美兼任講師のため、「デジタルマーケティング」の後任を荒川善大兼任講師に変更。
・「国際動態論」の担当を増田達夫教授から松長昭兼任講師に変更。
・松澤祐公兼任講師が退職。「キャリアデザインⅡ」の後任を若槻光子兼任講師に変更。
・「マーケティング」の担当を小川元也准教授から長尾雅信兼任講師に変更。
・「中国語コミュニケーション」の担当を崔衛華兼任講師から肖航兼任講師に変更。
・「総合制作研究実習Ⅰ」「総合制作研究実習Ⅱ」に村井さだゆき教授、西村潤子准教授、ヨシカワゴエモン教授を追加で配置予定。
現在教員審査中（令和6年3月提出）。/令和6年5月に教員審査実施予定。
・「日本語コミュニケーション」の常木正則教授が令和6年3月31日付で退職。兼任講師として継続して担当する。
・「情報リテラシー」の柄沢直之兼任講師が准教授に昇格。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
10	5	4	2
名	名	名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一イ(2)及び第四十二条の六、専門職大学設置基準別表第一イ及び第三十六条、専門職短期大学設置基準別表第一イ及び第三十三条により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
9	6	3	1	19	6	8	4	5	2	19	6
(9)	(6)	(3)	(1)	(19)	(4)						
専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数		専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数			
6	8	5	2		5	9	3	2			
(6)	(7)	(5)	(1)								
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	4	5	2	19	6	9	6	3	1	19	6
[Δ1]	[Δ2]	[2]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数		専任教員数(専)	専任教員数(実専)	専任教員数(実(研))	みなし専任教員数			
5	9	3	2		5	9	5	2			
[Δ1]	[1]	[0]	[0]		[Δ1]	[1]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
 なお、みなし専任教員(実み)がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65(教授・准教授・講師)	4	5
60(助教・助手)		
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{19} = \boxed{21.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{6}{6} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	中西素規	R4.3	必修	パブリッシング実習Ⅰ	①	R4.3 一身上の都合により退職(4)			
				必修	パブリッシング実習Ⅱ	①				
				選択	印刷・広告実習Ⅰ	①				
				選択	印刷・広告実習Ⅱ	①				
				必修	総合制作研究実習Ⅰ	①				
2	教授 (学部長)	神村(上村) 幸子	R5.3	必修	作画表現技法論	①	R5.3 一身上の都合により退職(5)			
				必修	透視図法基礎	①				
				必修	クリエイターの基礎知識	①				
				必修	総合制作研究実習Ⅰ	①				
3	教授	こだま(児玉)兼嗣	R5.3	必修	総合制作研究実習Ⅱ	①	R5.3 一身上の都合により退職(5)			
				選択	アニメ基礎演習Ⅰ	①				
				選択	アニメ基礎演習Ⅱ	①				
				選択	演出表現論	①				
				選択	アニメ制作工程演習	①				
				選択	アニメ制作実習	①				
				必修	総合制作研究実習Ⅰ	①				
4	准教授	森岡 淳	R5.3	必修	美術史	①	R5.3 一身上の都合により退職(5)			
				必修	キャラクターコンテンツ企画演習	①				
				選択	キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ	①				
				選択	キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	①				
				選択	キャラクターデザイン演習	①				
				選択	キャラクターデザイン実習	①				
				選択	キャラクターデザインゼミⅠ	①				
				選択	キャラクターデザインゼミⅡ	①				
				必修	イラスト実務実習	①				
				選択	キャラクターイラスト・マンガ演習Ⅰ	①				
				選択	キャラクターイラスト・マンガ演習Ⅱ	①				
				必修	総合制作研究実習Ⅰ	①				
				必修	総合制作研究実習Ⅱ	①				
				必修	キャラクターデザイン表現基礎	①				
				5	准教授	KENTOO (喜多浩一)		R6.3	必修	キャラクターコンテンツ企画演習
選択	キャラクターデザイン演習	①								
選択	キャラクターデザイン実習	①								
選択	キャラクターデザインゼミⅠ	①								
選択	キャラクターデザインゼミⅡ	①								
必修	イラスト実務実習	①								
選択	キャラクターイラスト・マンガ演習Ⅰ	①								
選択	キャラクターイラスト・マンガ演習Ⅱ	①								
選択	キャラクターデザイン基礎演習Ⅰ	①								
選択	キャラクターデザイン基礎演習Ⅱ	①								
必修	総合制作研究実習Ⅰ	①								
必修	総合制作研究実習Ⅱ	①								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
5	人	必修	22	科目	必修	22	科目	必修	0	科目
		選択	23	科目	選択	23	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	45	科目	計	45	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5	人	必修	22 科目	必修	22 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	23 科目	選択	23 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	45 科目	計	45 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{5}{19} = 26.31 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>中西素規准教授 退職は「一身上の都合」であり大学としてはやむを得ないと判断している。 当該准教授の後任については令和5年4月に専任教員補充済み。</p> <p>神村(上村)幸子教授 退職は「一身上の都合」であり、大学としてはやむを得ないと判断している。</p> <p>こだま(児玉)兼嗣教授 退職は「一身上の都合」であり、大学としてはやむを得ないと判断している。</p> <p>上記教授2名はいずれもアニメーション領域の教授であり、後任として教授1名を令和6年4月に補充済み。 また上記教授2名の担当していた一部科目を他の専任教員の科目追加で対応済み。 なお、同領域の専任教員は引き続き採用活動中。</p> <p>森岡淳准教授 退職は「一身上の都合」であり、大学としてはやむを得ないと判断している。 当該准教授の後任については令和5年4月に専任教員補充済み。</p> <p>KENTOO(喜多浩一)准教授 退職は「一身上の都合」であり、大学としてはやむを得ないと判断している。 当該准教授の後任については令和6年4月に専任教員補充済み。</p> <p>上記教員の退職については大学ホームページと学内学務システムおよび各授業内で口頭により学生に周知した。未開講の科目は生じていない。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認可時 (令和2年)	<p>・入学後半年間アニメ・マンガの両分野に係る理論を学んだ上で、1年次3期以後はアニメ、マンガ、キャラクターデザインの3つの分野から選択して学修していくという教育課程の体系性や有効性について、養成する人材像や3つのポリシー、卒業後の進路とのつながりに注意して、入学希望者や学生に、年度ごとに明確かつ丁寧に説明していくことが望ましい。</p>	<p>改善事項 (助言事項)</p> <p>・新入生に対しては、入学時のオリエンテーションにおいて、教育課程の体系性や有効性について、養成する人材像や3つのポリシー、想定される卒業後の進路・就職についてな説明を行い、履修登録期間を設け授業を開始した。 ・オープンキャンパスでもアニメ、マンガ、キャラクターデザインの3つの分野から選択して学修していく教育課程の体系性に関する説明時間を設け、個別相談でもフォローできる体制を整備している。(3) ・上記対応の継続と共に、在学生に対する履修指導も教職員による丁寧な説明のもと実施している。(4) ・「実践力」と「創造力」を伸ばすカリキュラムによる専門職人材の育成に向け、カリキュラムの見直しを図り、学部開設5年目を以降に導入予定。(5) ・上記対応を継続すると共に、アニメ、マンガ、キャラクターデザイン、3つの分野に「分野長」となる教員を任命し、随時教育内容の研鑽を図っている。(6)</p>	<p>履行中</p> <p>左記の取組を着実に継続して実施するとともに、教員間の連携を強化し、学生の進路指導にあたっていく。 完成年度までの設置計画の履行に対する遵守事項であることから、左記のように「履行途中」。 (5) (6)</p>
認可時 (令和2年)	<p>・人材需要の動向に係るアンケート調査の結果を踏まえ、卒業生が適切な進路に進むことができるよう、開学後も教育内容の充実に努めるとともに、社会や企業に対して、本学が専門職大学として養成しようとする人材像の周知・広報に努め、卒業後の進路となる就職先の開拓、確保に向けて不断に努めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <p>・開学後も継続して一般社団法人日本動画協会が主催するアニメ人材パートナーズフォーラムに参加するなど、不断の情報収集に努めるとともに、分野技術の地域産業に向けた応用展開など新たな就職先の開拓に取り組んでいる。(3) ・学部開設1年目よりキャリアセンターをアニメ・マンガ学部のキャンパスに設置し、新規臨地実務実習受入れ先企業をはじめとする関連企業への教育内容の訴求を継続して行っている。 ・開学以降、各団体や地方自治体との包括連携協定の締結が進み、今後より具体的な取組の効果が期待できる。(5) ・臨地実務実習受入れ企業の他、全教職員にて新規連携企業の開拓・教育内容の訴求とキャリアセンター主導による就職活動イベントを継続して行っている。(6)</p>	<p>履行中</p> <p>完成年度までの設置計画の履行に対する遵守事項であることから、左記のように「履行途中」。 (5) (6)</p>
認可時 (令和2年)	<p>・「履修・試験・成績評価に関する細則」において、出席状況を評価対象に含めていると見受けられることから、適切に改めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <p>・2020年12月2日総務会にて改定内容を審議の上、2020年11月12日付にて細則の改定を決議した。(3)</p>	<p>履行済</p>

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・「イラスト実務実習」を連携実務演習等として実施するに当たっては、その教育効果を常に適切に把握し、臨地実務実習に代替する授業科目としての教育水準を確保すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>・2023年に開始予定の「イラスト実務実習」について、既に指導予定の企業との綿密な摺り合わせを開始しており、臨地実務実習に代替できる連携実務演習等の準備に取り組んでいる。(3) ・「イラスト実務実習」担当企業の指導担当者は、教育課程連携協議会の構成委員でもあり、綿密な事前打合せに基づき本学の教育課程を理解した上で本授業を遂行した。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>臨地実務実習に代替する授業科目としての教育水準を確保するため、早期に準備を開始しており、連携企業との打合せを継続して行い授業体制の整備を進めていく。(5) 臨地実務実習に代替する授業科目としての教育水準を確保するため、早期に準備を開始しており、連携企業との打合せを継続して行い、授業実施後の企業担当者からのフィードバックをふまえ、次年度授業への改善を継続して行っていく。(6)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・臨地実務実習の実習先について、受講者見込み数に対して実習先受入数が同数程度の授業科目もあるため、継続的に実習先の確保に取り組むとともに、実習先側において学生の受入れが困難になった場合に備え、受入れ態勢の柔軟な対応などの代替措置を検討しておくことが望ましい。</p>	<p>改善事項 (助言事項)</p>	<p>・臨地実務実習科目別に担当教員を割り当て、アニメ、マンガ、キャラクターデザイン各分野の実習先新規開拓の依頼交渉にあたっている。(3) ・一年を通じて教職員による臨地実務実習の新規受入れ先の開拓を継続し、本学アニメ・マンガ学部が養成する人材像についての周知・広報に努めている。(4) ・学部内の「臨地実務実習委員会」が中心となり、教授会や各学部内会議にて実習先確保状況を共有し、上記新規受入れ先企業の開拓を継続して行っている。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・実習先側において学生の受入れが困難になった場合に備え、十分な受入れ企業数の確保に向けた取組を全教職員体制にて継続して行っていく。(5)(6)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・教育研究の質の確保の観点から、各専任教員の担当単位数を適切に管理する等により、引き続き業務負担の見直しや均等化に取り組むことが望ましい。</p>	<p>改善事項 (助言事項)</p>	<p>・学期ごとに、担当科目の少ない教員を臨地実務実習先の新規開拓担当として優先して割り当てることをはじめ、大学管理運営業務負担の見直しや、均質化に取り組んでいる。(3) ・上記業務均質化の取組は継続して行っている。(4)(5)(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・左記取組は完成年度まで継続して行い、適宜見直しを図っていく。(5)(6)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・留学生の定員枠の設定等は特に行わないものの、留学生を受け入れる計画となっているため、本学部の専攻分野の特性及びアニメ・マンガ関連人材の国際性に鑑み、引き続き留学生の修学及び生活面の双方における支援の充実に努めるとともに、計画的に拡充していくことが望ましい。</p>	<p>改善事項 (助言事項)</p>	<p>・2021年4月の学部開始にあたり予定していた助手4名中、1名を中国籍のCG系製作技術研究志望者から採用しており、当年、中国籍学生の生活指導や就学支援を行っている。今後も継続して留学生支援体制に取り組む予定である。(3) ・また留学生支援経験のある職員が対応できるよう体制を整備している。(3) ・留学生支援経験豊富な事務局職員を配置し丁寧な学生フォローにあたっている。(4) ・留学生支援担当事務局職員拡充の検討とあわせ、教員による個別フォロー体制整備検討を進めていく。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・在学生数の増加に伴い、留学生支援体制のノウハウ構築と拡充検討を継続して行っていく。(5)(6)</p>

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・本学部の教員や学生のニーズ、教育内容や研究の動向を踏まえながら、視聴覚資料の継続的・専門的・体系的な整備に努めることが望ましい。</p>	<p>改善事項 (助言事項)</p>	<p>・学部の教育研究において必要な視聴覚資料の整備に努め、今後も計画的に予算を計上し拡充を行う。(3)(4)(5)(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・アニメ・マンガ学部内に設立された新潟視覚芸術研究所(RIVNA)の活動の一環として、「教育内容・研究の動向」を巡る視点から、体系的な資料の収集・活用・整備について、図書委員会連携のもと可能な情報提供などを行っていく。(5)(6)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・アニメーション制作に必要なパソコンやソフトウェアは、教育課程に応じて全ての学生が支障なく使用することができるよう、必要な数を整備すること。また、大規模な音声収録等が発生した場合について、近隣の専門学校等の設備を利用する計画としているが、本学部の教育研究に必要な設備であることから、将来的には本学において備えることについて検討すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>・ソフトウェアや機器の選定等に関しては、現時点の最新状況を調査の上で機器整備を行ったが、今後も継続して精査していく。(3) ・音響編集環境については業務標準ツールの導入を行っている。(3) ・現在既に1台のAVID Protools(情報処理学習施設に設置)と、学生が実習使用する全ての実習用PC150台に対しAdobe Auditionが使用できる環境を学部開設前に準備し、音声収録を含む音響に関する学習が十分行える環境を整えている。(3)</p>	<p>履行中</p>	<p>・完成年度を見据え、教育課程に応じて全ての学生が支障なく使用することができるよう、機材に関する整備を継続して行っていく。 ・大規模な音声収録等が発生した際の設備計画については、アニメ・マンガ学部の完成年度以降に備える計画にて検討していく。(5)(6)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>・本法人の教育職員就業規則では定年65歳とされているが、大学新設時は、開設年度から完成年度までの間を大学としての教育研究体制の基盤を形成する期間として位置付けており、豊富な知識と経験を活かし教育研究水準の維持向上を図るために経験豊富な教員を多く配置した。その結果、アニメ・マンガ学部は完成年度において定年年齢を超える教員が7名となっており、定年延長の特例を設けている。(3) ・あわせて完成年度以降は教育研究の継続および教育研究の質の向上を維持するために、新規採用により適正な年齢構成、職位構成で教員組織が保持できるように努める。(3) ・また、完成年度における定年退職を見据えて、年次進行中における若手教員の前倒し採用の計画を策定し、当該計画に基づく年次進行中における若手教員の確保に向けた継続的な採用活動とともに、研究業績や能力を高めた教員の内部昇格により教員配置の適正化に努める。(3) ・従来、教員の任期を1年としていたが、若手教員採用に向け、雇用の安定性を高め、優秀な人材の維持および確保を目的に、教員の任期に関する制度・規程の改正を実施(5) ・令和5年度中に、30代の若手教員2名の採用が確定し、令和6年4月1日より着任している。今後も若手教員の確保に向けた継続的な採用活動とともに、研究業績や能力を高めた教員の内部昇格により教員配置の適正化に努める。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>・完成年度に向けて策定する採用計画と内部昇格を実行し、教育研究の質の向上と教員配置の適正化を実現する。(5)(6)</p>

<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)</p>	<p>教育内容の充実などを通じ、入学定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>【A C】 指摘事項 (改善)</p>	<p>・令和2年度入試では学部認可の遅れに伴い、初回入学試験が令和2年12月となったもあり、入学者が42名と大幅に入学定員を割り込んだ。令和2年度入試結果の要因分析を行い、オープンキャンパス内容の改善、高校訪問強化など学生募集対策を実行した。その結果、令和3年度の入試では入学者64名に増加したものの入学定員充足には至っておらず引き続き学生募集活動の強化を行う。(4)</p>	<p>履行中</p> <p>・令和3年度入試分析結果に基づき、下記の学生募集対策を実行していく。 1) オープンキャンパスプログラムおよび内容の改善 2) 教職員協同による高校訪問強化及び高校教員向け大学説明会を実施 3) 進学媒体での露出拡大やSNSによる情報発信強化 4) 各種ガイダンス参加機会の増大や高校の学校見学会受け入れ強化 5) 学部パンフレット刷新 6) 募集エリア拡大および美術系の実績を有する高校への個別アプローチ強化 7) 全国高等学校文化連盟への協賛 8) 令和5年3月開催の「新潟国際アニメーション映画祭(実行委員長: アニメ・マンガ学部堀越教授)」開催会場としての認知向上。</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)</p>	<p>教育内容の充実などを通じ、入学定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>【A C】 指摘事項 (改善)</p>	<p>令和3年度入試の結果分析より、出願者の増加に向け入試改革を実行した。しかしながら、受験生・高校教員への入試情報の提供が例年より遅れ、その影響からか出願が伸び悩んだ。結果、令和4年度入試での入学者は58名と入学定員を割り込み、充足率は72.5%であった。一方、出願者の偏差値帯は年々上昇が見られ、学業が優秀で、かつ意欲的な学生確保ができてきたと考える。引き続き、学生募集活動の強化を行い、定員充足を実現する。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>・令和4年度入試分析結果に基づき、下記の学生募集対策を実行する。 1) 入試情報の早期確定 2) 受験生・高校教員への入試情報の早期提供(オープンキャンパス、高校訪問、ホームページ等) 3) オープンキャンパス集客メニューの整備、およびプログラムの改善 4) 高校教員向け大学説明会の実施 5) 高校への生徒向け出張講義の実施 6) 教職員共同による高校訪問活動の強化 7) 進学媒体での露出拡大や学部SNSによる情報発信強化 8) 各種ガイダンス参加機会の増大や高校の学校見学会受け入れ強化 9) 学部パンフレット刷新 10) 県外エリア(特に東北)広報強化および美術系の実績を有する高校への個別アプローチ強化 11) 新カリキュラムへの変更による、4年間の学びの刷新・魅力訴求 12) 大学独自のコンテストの開催(KAISHI視覚芸術トリエンナーレ) 13) 令和6年3月開催の「新潟国際アニメーション映画祭」開催会場としての日本・海外への認知度向上</p>

<p>設置計画履行状況調査結果 (令和5年度)</p>	<p>教育内容の充実などを通じ、入学定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>令和4年度入試の結果分析より、出願者の増加に向け入試改革を実行した。令和6年4月入学生は61名にて、定員充足には至らなかったものの前年比105.2%の入学者数となり、アニメ・マンガ分野に意欲的な学生達が集まってきている。引き続き、学生募集活動の強化を行い、定員充足を実現する。(6)</p>	<p>・令和5年度入試分析結果に基づき、下記の学生募集対策を実行する。 1) 入試分析、オープンキャンパス分析、WEBサイトアクセス分析に基づいた 広報戦略の立案・実行 2) 専門職大学としての教育実績の訴求(特に臨地実務実習成果) 3) オープンキャンパス参加者の出願率の向上 ・2023年度を上回る参加者出願率の向上のため、高校生目線に立ったプログラム内容の見直し・編成 4) オープンキャンパスへの集客と本学ブランドの浸透 ・積極的なガイダンス参加での「受験生・保護者」への学部の魅力訴求 ・高校訪問活動を通じた「高校教員」への学部の魅力訴求と教育実績の浸透 ・出張講義を通じた「高校生」への分野理解と本学教育特長の訴求 5) 高大連携の強化による学生募集活動の推進 6) 留学生の獲得強化 7) 各種広報ツールの一新、新たな訴求ツールの開発 ・動画コンテンツの制作・配信による、県内外へのブランド訴求 学生ブランドアンバサダーによるSNSでの大学魅力訴求 8) 出願増加を目指した入試制度改革の推進 (6)</p>
---------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------	--	---

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。) と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>授業の内容に応じた授業の方法 知識の理解を目的とする教育内容については、「講義形式」を中心とした授業形態を採ることとしている。</p>	<p>現代経済学の授業方法変更 ・現代経済学の授業方法をメディア授業に変更。 ・2キャンパスを跨ぎ、対面とオンラインのハイブリッド型（情報学部の講義室からアニメ・マンガ学部へ通信。） ・アニメ・マンガ学部講義室にも助手を1名配置し、学生からの質問に対応するなど理解度を確認しながら進めているため、学生からの教員に対する質問の機会の確保についても問題なく進めている。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

①	FD・SD委員会の設置と実施状況
a	委員会の設置状況
	FD・SD委員会設置(令和2年4月)
b	委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
	令和5年 5月17日 令和5年度第 2回 参加率 100%
	令和5年 6月 7日 令和5年度第 3回 参加率 100%
	令和5年 7月 5日 令和5年度第 4回 参加率 85%
	令和5年 8月 2日 令和5年度第 5回 参加率 100%
	令和5年 9月 6日 令和5年度第 6回 参加率 85%
	令和5年10月 4日 令和5年度第 7回 参加率 100%
	令和5年11月 7日 令和5年度第 8回 参加率 85%
	令和5年12月 6日 令和5年度第 9回 参加率 85%
	令和6年 1月10日 令和5年度第10回 参加率 100%
	令和6年 2月 7日 令和5年度第11回 参加率 85%
	令和6年 3月 6日 令和5年度第12回 参加率 100%
	令和6年 4月11日 令和6年度第 1回 参加率 100%
	計12回開催
c	委員会の審議事項等
	(1) 教育研究活動の改善に関する立案・実施に関する事項
	(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
	(3) 学生による授業評価の計画・実施及び分析に関する事項
	(4) 教育研究活動の改善に関する情報の収集と提供に関する事項
	(5) 教育研究活動の運営に必要な知識及び技能の習得に関する立案・実施に関する事項
	(6) 教育研究活動の運営に必要な知識及び技能の習得に関する情報の収集と提供に関する事項
	(7) その他教育研究活動の改善及び教育研究活動の適切かつ効果的な運営に関する事項
②	研修の実施状況
a	実施内容
	・少子化の中での広報の成功事例に学ぶFD/SD研修会 (令和5年5月24日)
	・チームビルディングFD/SD研修会 (令和5年6月21日)
	・認証評価制度FD/SD研修会 (令和5年9月20日)
	・完成年度後のシラバス作成方法FD研修会 (令和5年11月15日)
	・学生支援と合理的配慮についてFD/SD研修会 (令和6年2月21日)
b	実施方法
	研修会会場での対面とMicrosoft Teamsを利用したハイブリッド形式での実施。
c	開催状況(教員の参加状況含む)
	・少子化の中での広報の成功事例に学ぶFD/SD研修会 (令和5年5月24日) 93.9%
	・チームビルディングFD/SD研修会 (令和5年6月21日) 87.6%
	・認証評価制度FD/SD研修会 (令和5年9月20日) 55.7%
	・完成年度後のシラバス作成方法FD研修会 (令和5年11月15日) 89.8%
	・学生支援と合理的配慮についてFD/SD研修会 (令和6年2月21日) 84.2%
d	研修の総括と授業等の改善
	・標統合や役割分担などのタスクプロセスの重要性、チームの雰囲気や個々の関係性といったメンテナンプロセスがあってこそ良好なチームの議論を進めることが出来る事が分かった。
	・委員会等の学内の意思決定において、規程に応じた報告やエビデンスの残し方について、改めて確認する必要性を感じた。
	・シラバスの学習目標の設定と評価方法の関連性やポリシーを意識した内容の検討の重要性を理解した。
③	学生に対する授業評価アンケートの実施状況
a	実施の有無及び実施時期
	・クォーター制のため、学期ごとに年4回実施(令和5年6月、8月、11月、令和5年1月)
b	教員や学生への公開状況、方法等
	・学内ポータルサイトにて、結果を学生および教職員に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

<p>① 体制</p> <p>a 委員会の設置状況 (5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)</p> <p>・設置状況：設置済み</p> <table><tr><td>堀越 謙三</td><td>構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部学部長・教授）</td></tr><tr><td>成田 兵衛</td><td>構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部学部長代行・教授）</td></tr><tr><td>belne（菅谷 多津）</td><td>構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部 教授）</td></tr><tr><td>石山 桂一</td><td>構成員区分：協力（株式会社トムス・エンタテインメント 執行役員・制作副本部長）</td></tr><tr><td>小野打 恵</td><td>構成員区分：職業（（一社）日本動画協会 人材育成委員会 副委員長）</td></tr><tr><td>栗原 弘樹</td><td>構成員区分：職業（株式会社ファンタジスタ 代表取締役）</td></tr><tr><td>田中 栄二</td><td>構成員区分：職業（株式会社muku. 代表取締役）</td></tr><tr><td>丸山 夕香</td><td>構成員区分：地域（新潟市 文化スポーツ部 文化政策課 部次長）</td></tr><tr><td>中村 公彦</td><td>構成員区分：協力（コミティア実行委員会 会長）</td></tr><tr><td>松尾 亮一郎</td><td>構成員区分：協力（株式会社CLAP 代表取締役プロデューサー）</td></tr></table> <p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、産業界及び地域社会との連携により、専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った専門職人材育成教育を実施するため、教育課程を編制し、及び円滑かつ効果的に実施することを目的とした協議会（以下、教育課程連携協議会と称する）に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(組織・任期)</p> <p>第2条 学長は、教育課程連携協議会を設置し、意見を聴取し、教育課程の編成において意見を勧告するものとする。委員の任期については2年間とする。但し、再任を妨げないものとする。</p> <p>(協議会の構成)</p> <p>第3条 教育課程連携協議会の構成員は、次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 学長が指名する教員その他の職員(2) 本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者 による団体のうち、広範囲の地域で活動するもの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有するもの(3) 地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者(4) 臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者(5) その他、教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認めたる者 <p>2 教育課程連携協議会の構成員のうち、第1項の第1号に定めるものから1名を委員長として学長が指名する。</p> <p>b 委員会の開催状況（回数や開催日など）</p> <p>令和5年度第1回：令和5年10月26日 令和5年度第2回：令和6年2月20日</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項(2) 産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項 <p>第4条 教育課程連携協議会は、各学部に関係する業界動向、最新の知識、手法等を考察し、それを踏まえて次に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項(2) 産業界及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項 <p>d その他</p> <p>第5条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、学長が決定する。</p> <p>② 審議状況</p> <p>a 審議した内容</p> <ul style="list-style-type: none">・産業界および地域社会に求められる人材育成の為の教育課程の編成について・臨地実務実習の課題と評価・就職支援についての課題と評価 <p>b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況</p> <ul style="list-style-type: none">・新カリキュラム案では、3DCG制作に関する学習において、専門科目が本格化する2年次前期から実技を伴う科目を導入する <p>c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況</p> <ul style="list-style-type: none">・新カリキュラム案では、3DCG制作に関する学習においてその導入的な科目である2年次4期「3DCG概論」（1単位）を、新カリキュラム案では2年次1・2期「3DCG基礎および演習」（4単位）に変更した。現行カリキュラムでは3DCGに係る科目が全科目で7単位であるが、新カリキュラムでは、演習の単位数を増やし、全体で10単位、3単位増単とした。	堀越 謙三	構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部学部長・教授）	成田 兵衛	構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部学部長代行・教授）	belne（菅谷 多津）	構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部 教授）	石山 桂一	構成員区分：協力（株式会社トムス・エンタテインメント 執行役員・制作副本部長）	小野打 恵	構成員区分：職業（（一社）日本動画協会 人材育成委員会 副委員長）	栗原 弘樹	構成員区分：職業（株式会社ファンタジスタ 代表取締役）	田中 栄二	構成員区分：職業（株式会社muku. 代表取締役）	丸山 夕香	構成員区分：地域（新潟市 文化スポーツ部 文化政策課 部次長）	中村 公彦	構成員区分：協力（コミティア実行委員会 会長）	松尾 亮一郎	構成員区分：協力（株式会社CLAP 代表取締役プロデューサー）
堀越 謙三	構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部学部長・教授）																			
成田 兵衛	構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部学部長代行・教授）																			
belne（菅谷 多津）	構成員区分：教職員（開志専門職大学アニメ・マンガ学部 教授）																			
石山 桂一	構成員区分：協力（株式会社トムス・エンタテインメント 執行役員・制作副本部長）																			
小野打 恵	構成員区分：職業（（一社）日本動画協会 人材育成委員会 副委員長）																			
栗原 弘樹	構成員区分：職業（株式会社ファンタジスタ 代表取締役）																			
田中 栄二	構成員区分：職業（株式会社muku. 代表取締役）																			
丸山 夕香	構成員区分：地域（新潟市 文化スポーツ部 文化政策課 部次長）																			
中村 公彦	構成員区分：協力（コミティア実行委員会 会長）																			
松尾 亮一郎	構成員区分：協力（株式会社CLAP 代表取締役プロデューサー）																			

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

内部質保証に関する組織として、将来計画機構、内部質保証機構、学外評価委員会の3組織を設置している。さらに、内部質保証機構では、自己点検・評価報告書を作成するための委員会として自己点検・評価委員会と、事務を所掌する内部質保証推進室を設置している。

内部質保証機構と将来計画機構の設置により、本学の内部質保証を推進するPDCAサイクルとしてPを将来計画機構、Dを各学部やセンター及び委員会と事務局、Cは内部質保証機構内に設置した自己点検・評価委員会、Aは内部質保証機構が担う体制が整備され推進されている。さらに、内部質保証機構が毎年作成する自己点検・評価報告書を2年に1度評価する外部組織として学外評価委員会があり、自己点検・評価に対するフィードバックを学外者から得ることで、質保証を高めた点検評価を実施している。

これらの実施運営と結果をもって、着実に設置の趣旨と目的を達成できていると自己評価するとともに、今後も設置計画を確実に履行しつつ、専門職大学の特性を活かし、設置の趣旨・目的を達成し続ける大学運営を行う。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和6年8月

b 公表方法

大学ホームページ上に公表

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

内部質保証機構（学内組織）において、令和6年度に分野別認証評価を受審する認証評価機関を選定中である。

内部質保証機構（学内組織）において、令和8年度に機関別認証評価を受審する認証評価機関を調査・検討中である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

開志専門職大学 FD・SD委員会規程

(設置)

第1条 開志専門職大学にFD・SD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、教育研究活動の内容及び方法の改善・向上及び教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図り教育・研究の発展に寄与するため、必要な事項を調査、審議または処理することを目的とする。

(所掌事項)

第3条 委員会の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 教育研究活動の改善に関する立案・実施に関する事項
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- (3) 学生による授業評価の計画・実施及び分析に関する事項
- (4) 教育研究活動の改善に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 教育研究活動の運営に必要な知識及び技能の習得に関する立案・実施に関する事項
- (6) 教育研究活動の運営に必要な知識及び技能の習得に関する情報の収集と提供に関する事項
- (7) その他教育研究活動の改善及び教育研究活動の適切かつ効果的な運営に関する事項

(組織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教員 3名
- (2) 事務局学務課長 1名
- (3) 委員会が必要と認めた教員及び事務職員 若干名

(任期)

第5条 委員の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学長が指名する。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

- 4 委員長は委員会を招集し、その議長となる。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(会 議)

第7条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

- 2 議事の議決は、出席した委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

(専門部会)

第9条 委員会は、必要があると認めるときは、委員会の中に専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会の部会長は、委員のうちから委員長が委嘱する。
- 3 専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(報 告)

第10条 委員長は、委員会の審議が終了したときは、その結果を教授会に報告する。

- 2 委員長は、学則第10条で定める事項の審議結果の決定にあたっては、教授会の議を経て学長の承認を得なければならない。
- 3 委員長は、前項の事項のほか、審議結果について教授会に意見を求めることができる。

(事 務)

第11条 委員会の事務は、事務局学務課が行う。

(改 廃)

第12条 この規程の改廃は、総務会の議を経て学長が行う。

(補 則)

第13条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、2020年4月1日から施行する

2 この規程は、2022年4月1日から施行する。

別添資料②

(アニメ・マンガ学部) 教育課程連携協議会構成員名簿

(令和6年5月1日時点)

		令和6年度	(五十音順・敬称略)	
番号	役職	氏名	構成員区分	現所属および役職名
1	委員長	堀越 謙三	教職員	開志専門職大学 アニメ・マンガ学部学部長・教授
2	副委員長	成田 兵衛	教職員	開志専門職大学 アニメ・マンガ学部学部長代行・教授
3	委員	belne	教職員	開志専門職大学 アニメ・マンガ学部 教授
4	委員	石山 桂一	協力	株式会社トムス・エンタテインメント 執行役員 制作本部長
5	委員	小野打 恵	職業	一般社団法人日本動画協会 人財育成委員会 副委員長
6	委員	栗原 弘樹	職業	株式会社ファンタジスタ 代表取締役
7	委員	田中 栄二	職業	株式会社muku. 代表取締役
8	委員	丸山 夕香	地域	新潟市 文化スポーツ部 文化政策課 部次長
9	委員	中村 公彦	協力	コミティア実行委員会 会長
10	委員	松尾 亮一郎	協力	株式会社CLAP 代表取締役プロデューサー

【設置計画履行状況報告書・補足説明資料(専門職大学等)】

(共通留意事項)

○「認可(設置)時の計画」には認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」で記載した計画を記入ください。

○認可申請書に記載がなければ「記載なし」と記入ください。

○「履行状況」には報告時点で取り組んでいる事項(準備状況含む)を記入ください。

その際、「認可(設置)時の計画」から変更している場合は、変更した理由を具体的に記入ください。

① 入学者選抜

認可(設置)時の計画	履行状況
	<p>※入学者選抜において実際に各項目に該当する選抜を実施していればの結果と受験者や合格者の内訳を差支えない範囲で記入ください。</p>
<p>・多様性に配慮した選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) 特別選抜試験 ①総合型選抜 総合型選抜は、詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接を組み合わせることにより、入学志願者の学部教育を受けるための適性や学習意欲、目的意識等を総合的に判定することとする。 定員枠は40人とし、受験する者に対して、調査書、志望動機書、自己推薦書、学修計画書を求めることとともに、面接試験時には自己の作品を持参させる。</p>	<p>・多様性に配慮した選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目) <総合型選抜 内訳> アニメ・マンガ学部:受験者30人・合格者30人 【認可(設置)時の計画からの変更事項・理由】 他選抜区分の見直しに伴い、定員枠を35人に変更。</p>
<p>②学校推薦型選抜(指定校型及び公募型) 学校推薦型選抜は、指定校型は本学が指定する高等学校の校長の推薦書、公募型は自身の所属する高等学校の校長の推薦に基づき、調査書のほか、開志専門職大学アニメ・マンガ学部において求める学生像と入学志願者に求める能力や適性等に基づき、書類審査、面接試験、論文試験を課すことにより入学志願者の知識、思考、関心、意欲等を多面的かつ総合的に評価する。 定員枠は指定校推薦は20人、公募推薦は10人とする。</p>	<p>②学校推薦型選抜(指定校型及び公募型) <学校推薦型選抜 内訳> <指定校型> アニメ・マンガ学部:受験者12人・合格者12人 <公募型> アニメ・マンガ学部:受験者2人・合格者2人</p>
<p>一般選抜試験 入学志願者の学習能力をできる限り合理的に判定することができるように出題方針を立てるとともに、学力試験に合格した者に対して、第2次試験において面接試験を課すことにより、入学者の受入方針に基づく、学ぶ意欲や関心、適性等を適切に判定する。 定員枠は10人とし、必修1科目(国語)、選択1科目(英語、数学Ⅰ・A、世界史、日本史、地理、現代社会、簿記会計から選択)を課す。</p>	<p>・一般選抜試験 <一般選抜 内訳> アニメ・マンガ学部 :受験者6人・合格者6人 <大学入学共通テスト利用選抜 内訳> アニメ・マンガ学部 :受験者11人・合格者11人 【認可(設置)時の計画からの変更事項・理由】 大学独自の一般選抜試験と大学入学共通テスト利用選抜は異なる選抜区分であることを明確に訴求するため、2023年度より下記のように名称変更。 なお、県内他大学を参考に検討した結果、一般選抜に大学入学共通テスト利用選抜を含んでいる大学は多くはなかった。 (変更前)一般選抜 個別試験型 / 一般選抜 共通テスト利用型 (変更後)一般選抜 / 大学入学共通テスト利用選抜 ・より多様な入学志願者の受け入れを目的とし、大学入学共通テスト利用型入試を2021年度より導入。一般選抜の定員枠は10人、共通テスト利用選抜5人に変更</p>

<p>・ 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目)</p> <p>専門職大学としての入学者の多様性に配慮する観点から、社会人や留学生についても入学者の対象として受入れることとしているが、大学開設年度から完成年度までの間は社会人や留学生の定員枠の設定や社会人や留学生に特化した入学者選抜の実施は行わず、一般選抜試験並びに特別選抜試験の総合型選抜の定員枠の中で選抜する。</p> <p>社会人の定員枠の設定や社会人に特化した入学者選抜を実施する場合には、実務の経験を有する者を受入れる場合の当該実務経験を通じた能力の修得を勘案した既修得単位の設定や一定期間を修業年限に通算できる仕組みの導入など、社会人の入学者選抜の制度について明確にする必要がある。</p> <p>社会人の定員枠の設定や社会人に特化した入学者選抜の実施については、専門職大学開学後、教育内容や教育環境の基盤形成と併せて、地域社会のニーズや入学対象とする社会人や留学生の動向等を見極めつつ、継続的かつ安定的に社会人や留学生を受入れるための教育環境や教育体制の整備について検討する。</p>	<p>・ 社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目)</p> <p>実施無し。</p> <p>完成年度以降、社会人の定員枠の設定や社会人に特化した入学者選抜を実施する場合には、実務の経験を有する者を受入れる場合の当該実務経験を通じた能力を勘案した既修得単位の設定や一定期間を修業年限に通算できる仕組みの導入の検討が必要。</p> <p>現在、教務委員会の担当教員と事務局にて、当該実務経験を通じた能力を勘案した既修得単位の設定について、基準等の検討中である。</p>
--	---

② 臨地実務実習

認可(設置)時の計画	履行状況
<p>・ 実習先の確保の状況</p> <p>臨地実務実習施設の確保の状況としては、各学科80人の入学定員に対して、複数の実習施設を確保し、受入予定学生数も入学定員を上回る人数とし、すべての学生が臨地実務実習を行える必要な実習施設を確保した。</p> <p>アニメ・マンガ学科 45施設</p> <p>・ 実習水準の確保の方策</p> <p>専門分野の実務を経験することで実践力を強化し専門性を高めることのみでなく、臨地実務実習の全体を通して、主体性や課題発見力、発信力を養うこともその目的として捉える。</p> <p>教育成果をあげるために、実習担当教員と実習施設の管理責任者及び直接指導に当たる実習指導者とで、実習内容について十分協議のうえ、臨地実務実習を実施することとし、学内において、実習前に実習に臨むための心構え、その実習の目的、求められる成果など十分な事前指導及び事後評価を行う体制を整備することで、実習水準の確保を目指すこととする。</p> <p>・ 実習先との連携体制</p> <p>実習施設に対して学生の受入れを依頼するにあたり、実習実施協定書に従い緊密な連携体制をとる。特に、実習の日程や人員と内容については、事前に調整のうえ、実習施設の実習指導者の理解を得たうえで、実習施設の長に対して正式な依頼文書を提出する。</p> <p>大学は、学生に対する十分な事前指導を行うとともに、実習時において出された要望については必ず対応する。実習期間中は、実習指導者と日程を調整した上で、実習先を訪問し、実習の実施状況を確認するとともに、意見交換をはじめとする必要な調整を行う。実習担当教員と実習指導者による協議の場を設け、実習体制や実習内容の整備に向けての意見交換などを行う。実習施設の実習指導者の研究や研修の支援として、講演会への参加や、図書館の利用など、実習施設の発展と向上に協力する。</p>	<p>※実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても記入ください。</p> <p>・ 実習先の確保の状況</p> <p>実習先として、以下23件の企業・施設から新たに臨地実務実習受入れとして確保。現在61企業・施設確保。</p> <p><追加した実習受入れ企業></p> <p>りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館、にいがた文化の記憶館、新潟市中央公民館、新潟市東地区公民館、新潟市鳥屋野地区公民館、新潟市関屋地区公民館、食育・花育センター、こども創造センター、動物ふれあいセンター、アグリパーク、ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センター、砂丘館(旧日本銀行新潟支店長役宅)、新潟市小針青山公民館、新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」、株式会社ジョーメイ、有限会社 ねこのしっぽ、株式会社アイ・シー・オー、株式会社アニマ&カンパニー、株式会社 朱夏、ヤルキマントッキーズ株式会社、一般社団法人 純真、株式会社 まんがたり、株式会社ガタケット</p> <p>・ 実習水準の確保の方策</p> <p>教育成果をあげるため、実習担当者と実習施設の管理責任者及び直接指導に当たる実習指導者とが十分協議した上で実習を開始した。</p> <p>実習前には学内において、企業・施設の開設目的、沿革、運営、施設構造を理解し、イベント日程、来場者状況を確認した。また、実習先でのビジネスマナーの重要性を理解し、ロールプレーを通し習得した。さらに、実習先の見学及び求められる実習内容について実習指導担当者から説明を受けた。</p> <p>実習先により、業務に必要な知識・技術について演習等で事前学習を行った。</p> <p>・ 実習先との連携体制</p> <p>各施設・企業と連携のもと、臨地実務実習文化啓発施設運営実務Ⅰ、文化啓発施設運営実務Ⅱ、デジタルペイント実務Ⅰ、デジタルペイント実務Ⅱ、印刷・広告実習Ⅰ、印刷・広告実習Ⅱ、イラスト実務実習(連携実務実習)、アニメ制作実務Ⅰ、キャラクターイラスト・マンガ実務Ⅰを実施した。</p> <p>1回目はオリエンテーションとして、実習先施設・企業の開設目的や企業理念、沿革、運営、構造を理解し、その業務内容を確認した。また、実習先でのビジネスマナーを理解し、ロールプレーを通し習得した。さらに、実習先の見学及び求められる実習内容について実習指導担当者から説明を受け、実習先により、業務に必要な知識・技術について演習等で事前学習を行った。</p> <p>2回目以降、実習先の日常的な業務へと従事し、これを体験するとともに、各実習先の活動や業務、規則について各実習指導担当者からガイダンスを受け、実習先について理解を深めた。</p> <p>また、実習先業務の体験的な課題について実習指導者からの指導により演習と評価を繰り返し、知識の理解を深めるとともに、必要な技術と求められるクオリティ、業務に取り組む際の意識について学んだ。</p> <p>最終回、または実習後、学生はアフターレポートや課題にて実習を振り返るとともに、その成果を実習担当者、担当教員に示した。</p> <p>実習終了後には担当教員と実習担当者で打ち合わせやアンケートによる振り返りを行い、より適切な実習を実現するため、連携を深めた。</p>

<p>・ 連携実務演習等 「イラスト実務実習」を臨地実務実習に代えて連携実務演習等として、5単 位科目として計画している。 この科目は臨地実習「アニメ制作実務Ⅰ」、「キャラクターイラスト・マンガ 実務Ⅰ」を履修するにあたり、実際の業務受注に沿って両分野に汎用性 の高い初歩的なイラスト制作実務に取り組む。その後履修する臨地実 習は、高い技術力が求められる仕事を行っている実習先となるため、あ らかじめ確実な実務の定着が求められる。具体的な職業領域としては、地 域の広告印刷物や、地域刊行誌等に要求されるカットイラストや、4コママ ンガ、マンガイラスト等を扱う「職業イラストレーター」を想定している。</p>	<p>・ 連携実務演習等 「イラスト実務実習」を実施した。 第1週目に大学教員指導のもと事前学習・オリエンテーションを実施し、ソフトウェアの基 本操作の確認、発注から納品までのワークフローの概要、入稿データの作り方の概説を 学んだ上で、第2週目より実習を開始した。 カットイラスト、リーフレット用マンガ制作等、受注から納品までの制作実習を実施する。 連携実務演習等は学内での実習となる為、学生は大学の講義を受けている感覚に近 く、業務を行っているという意識を忘れてしまいがちである為、事前学習にて臨地実務実 習と同義であることの指導を徹底して行った。実習担当者の実習指導者が連携し、コン ペティション形式を取り入れる等、学生の「業務としての意識」を刺激する効果を狙った 実習計画を組み立てた。</p>
---	--

③ その他

認可（設置）時の計画	履 行 状 況
<p>・ 同時に授業を行う学生数が40人を超える場合に講じる措置 履修希望調査により40人を超える履修希望者が予測される授業科目が ある場合は、複数クラスを開講できるように事前に教員の手配を行うことと し、年度当初の正式な履修登録に備える。 履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用 の時間を設けることにより、きめ細やかな教育指導を行う体制を整えたと ともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適 性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な 職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整 備する。しかし、履修希望調査により40人を超える希望者があったにも関 わらず、外部講師の制約、臨地実務実習施設の制約等により履修者の数 を制限せざるを得ない科目については、履修ガイダンスを行った上で、そ の科目に関連する科目の成績等により履修者の制限を行う。 また、教育課程表に配当されている年次以降にも履修可能である授業科 目は、学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な職員による個 別の履修相談時に、学生の履修希望や履修状況に配慮しながら、履修年 次の変更を促すことも行う。</p> <p>・ 入学前の実務経験を単位に換算した場合、その実施状況 (換算の対象とした実務経験の内容と、換算した単位数、適切な換算 が行われていることを説明すること。また換算の根拠となる規定等も 添付すること) 本学では学則第32条第3項において、学生が本学に入学する前に専門 性が求められる職業に係る実務の経験を通じ、当該職業を担うための実 践的な能力を修得している場合には、当該実践的な能力の修得を本学に おける授業科目の履修とみなし、単位を与えることができることとしてい る。</p>	<p>※実際に実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても 記入ください。</p> <p>履修希望者40人を超えた科目と履修者数 ・心理学概論(2年次 選択科目) /46人 ・3DCG概論(2年次 選択科目) /44人 ・企画プロデュース演習(2年次 選択科目) /55人 ・企画制作技術演習(2年次 選択科目) /52人 ・物語芸術workshopⅡ(2年次 選択科目 春季集中講義) /42人</p> <p>学生の履修状況に配慮し、基本的には履修年次の変更を促すことはせずに対応するこ ととした。 また、すべての科目において、専門職大学設置基準の第17条に基づき、授業教室に複 数の教員(専任だけでなく外部のゲスト講師も含む)を配置し、学生が教員にいつでも質 問・相談できる環境を整えたため、十分な教育効果があると判断して1クラス開講とした。 特に、演習科目であり、グループワークが主となっている企画プロデュース演習と企画 制作技術演習、物語芸術workshopⅡでは、5グループに学生を分けた上で、3人の教員 と2人の助手を配置することで、実質40人以下への教育指導を行う体制が整っている。</p> <p>該当なし</p>